

北の物販倶楽部 謁見音声 書き起こし資料

2015年2月6日 謁見収録 No.01



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



真田 孔明：
いつもの、はい

北野会長：
会社を、ここをまずつかまして順番に

真田 孔明：
はい

北野会長：
のし上がって行きゃさ、ね

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
10億ほどの桁になったら

真田 孔明：
はい

北野会長：
頭数はきついですぞ？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
頭数だけやけど 笑

真田 孔明：
笑

北野会長：
掛け算やから

真田 孔明：
はい

北野会長：



でもまあ、

真田 孔明：

う〜ん、1社辺りを大きくしてしまうと、色んなあのまた、会計の問題とか出てきちゃいますもんね？

北野会長：

う〜ん、売り上げ出て

真田 孔明：

売り上げと資本金

北野会長：

いやいや

真田 孔明：

大丈夫ですか？

北野会長：

全然、関係ないやろ

真田 孔明：

はい

北野会長：

あのね、金融機関は貸したらさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

あとは返済さえ滞らなけりゃ全然関係ねえ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

うん、あとはどんどんどん追撃して、壊せるんや

真田 孔明：



はい

北野会長：

で、今ね、今年の4月から

真田 孔明：

はい

北野会長：

金は返さんでもいいの

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

という話まで出とるような世の中やからさ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

いや俺もだから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、アメリカのおじさんと勝負せんならとね

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

出て来る時に東京に着いて言った、まあ少しね、たまを回す、ね、段取りをかけてくれと

真田 孔明：

おお～

北野会長：

ね、細かいのは、どうしようもないやて、おじさん達も



真田 孔明：

はい

北野会長：

太刀打ちできんのやて

真田 孔明：

笑

北野会長：

おじさん達は、わしより先に死ぬ、死ぬのはわかっとるんやけど

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、でもやっぱ、うん、いい方に

真田 孔明：

はい

北野会長：

刺激にせんと

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺ね、さらさらと計算しとったんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

国がさ、たとえば俺に10億、ま1億単位の話でもまあいいかな？1億で200万、俺が利息払う
とする中に

真田 孔明：

はい



北野会長：
日本政策銀行へ

真田 孔明：
うん

北野会長：
200万ね？

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、1億のたまで、ね、我々が求めている30の24%で、3,000万動いたとするやろ？

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
利息を、で俺がじゃあ、国が20%張ってるんやから、600万当てるわけよ

真田 孔明：
うん

北野会長：
俺からね

真田 孔明：
はい

北野会長：
だ、200万足す600万やで？

真田 孔明：
うん

北野会長：
わかる？



真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、絶対国は損せんのやて

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そやる？だ、商売につこうとさ、ね、別に女のあれで、ね、金突っこまなぎゃ

真田 孔明：

笑

北野会長：

大丈夫や

真田 孔明：

笑 お金に使ってる分には・・

北野会長：

そうそう・・変な辻斬りの、ね、せんとを、ちょ、かたはらと、こっちはさ、かましといて

真田 孔明：

はい

北野会長：

ま、利息だけでそう勝負せいと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ロットをでかくしてさ

真田 孔明：

はい

北野会長：



いや、でも日本の国自身も、そういう方向に向いとるんや

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

イギリスのように

真田 孔明：

金融大国で

北野会長：

そうそう、金融大国になって行きたいと

真田 孔明：

うん

北野会長：

あとは、トップのあの、ね、おじさんがキツ過ぎてさ、一人で金儲けとるんやで？

真田 孔明：

ああ、ああ

北野会長：

わかる？ネットでも17兆

真田 孔明：

ね

北野会長：

ね、んなもん23兆や

真田 孔明：

はい

北野会長：

23兆、どんなやつと思って

真田 孔明：

おかしいですね、やってることが・・・



北野会長：
そやる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
でもここであんた読んで思わなかった？おじさんの・・・日本の国がさ、金融資産かいてあるよ？
300兆

真田 孔明：
うんうん金融資産ですよ？うん

北野会長：
そうやって書いてあるやろ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
どうしてお前、国債を取って、取ったはがらかいた銭が、どうして資産に変わる？あそこで

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
でも、俺も借りた銭があったら、それ資産やろ？

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
一緒やないかい？

真田 孔明：
そうですね

北野会長：
そやる？



真田 孔明：

笑 貸して、もらったってやってるんですね

北野会長：

貸して、いや一緒やで

真田 孔明：

笑

北野会長：

昔からね

真田 孔明：

はい

北野会長：

政治の中には、こういう事言われとった

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

たださ、これどうなのかね？政治家がやるのと、彼等がやるのと、全然違うのかな？

真田 孔明：

日銀がやってるのはね

北野会長：

資産よ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

あんた、政治家がお前、横へ金ずらしたら横領やで？

真田 孔明：

おお〜



北野会長：
どこが・・・

真田 孔明：
どうなんですかね？

北野会長：
俺は、ね、法律家じゃないから 笑 全然わからないけど

真田 孔明：
ま、日銀は株式会社だから、民間ですからね

北野会長：
でもあれは、ま、自分とこで印刷しとるんやから

真田 孔明：
そうそう

北野会長：
なんぼでも買えるわな？

真田 孔明：
そうですね、民間だけど、政府が50%株持ってて 笑

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
で、自分たちが 笑 お金刷れる人が買ってるって、ひどい 笑

北野会長：
そうねや

真田 孔明：
俺、本当、びっくりしたんです、17兆一人勝ちで

北野会長：
ああ～

真田 孔明：



みんな負けてるんですよね？何兆も？

北野会長：

そやよ

真田 孔明：

民間、個人、法人

北野会長：

そやよ

真田 孔明：

唯一、年金だけが、1兆勝ってましたけど、年金だけが

北野会長：

あ、本当？

真田 孔明：

証券で、でも政府も銀行も、全部負けてましたよね、兆で

北野会長：

んなの、だからあの、3段落として来るからさ

真田 孔明：

うんうんうん

北野会長：

一般の素人の経理の奴が、これはもっと下がったら困るから、今、手仕舞いしようと

真田 孔明：

あ、手仕舞いですか

北野会長：

手仕舞いかけるよ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、で、ブラックビルのおじさんは、ばかっと



真田 孔明：
ブラックビル 爆笑

北野会長：
全部使ってくれよ 笑、そやる？で、ものすごいもんやよ？あの～

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
すごさは

真田 孔明：
う～ん、容赦がないっすねえ、あれ、遠慮全くないっすね、あれ見ると

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
短期間で17兆とかいって、あの2ヶ月で

北野会長：
もうわかるやろ？だから

真田 孔明：
本当、遠慮ないですよ？

北野会長：
3段落としをかけてるって 笑

真田 孔明：
う～ん、もうちょっと何か、お金刷る側の人がねえ、やるんだったら、遠慮してもいいんじゃないですかねえ？ 笑

北野会長：
ただ俺が言うとするのは

真田 孔明：
はい



北野会長：

そういうのはね、あんま、アコギ過ぎんかと？

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、そりゃ3段落としはわかったと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

でも、これあんまやり過ぎるとさ、外国勢が来んようになってまうやろ？

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

でもね、この間あんた言う、あのスイスの件も

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、あんなの絶対、介入しとるよ？

真田 孔明：

絶対？

北野会長：

か、介入しとるって話

真田 孔明：

あ、介入してますよね

北野会長：

日本が



真田 孔明：
あ、日本が？

北野会長：
そりゃそうやねん

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
そんなおいしい話を見逃すような 笑

真田 孔明：
見逃せば 笑

北野会長：
人じゃない

真田 孔明：
ブラックさんは 笑 あれなんか、気になってるの、本当0,8と1,2で、何か数字がね、何か一緒になって怖いなあ～って思って、あれ、日本はねえ・・

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
80円から120円になってってなるじゃないですか？

北野会長：
でもね、ヨーロッパ通貨を

真田 孔明：
はい

北野会長：
買いたくないわけやんか

真田 孔明：
うん



北野会長：

そやる？ヨーロッパ通貨は、まあ危ないでね

真田 孔明：

危ない

北野会長：

うん、んな事言うたら、どこの通過も危ねえ

真田 孔明：

はい

北野会長：

そうなるとまた、みんな日本円買いに来るやろ？

真田 孔明：

な、最近下げ止まってるんですよ、日本円が

北野会長：

う〜ん、だから今の経済はさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

その、おじさん達と、対戦しても絶対に・・だからおじさん達の流れにうまい事乗るしか

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

こんなもんずっと三寒四温で、叩かれたらみんな逝ってしまう

真田 孔明：

う〜ん、本当ですよ

北野会長：

いや、普通はさ、資金運用の担当者がやっとなる

真田 孔明：



うんうん

北野会長：
だからやられる

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
おじさんとか人の心読みきっとるんや

真田 孔明：
読みきってる・・

北野会長：
どんどんどんって3つも赤食ったらさ、みんな手仕舞いかけてっちゃうんだよ、2日目に？

真田 孔明：
手仕舞い、う〜ん

北野会長：
それをさ、金魚すくいみたいに

真田 孔明：
笑

北野会長：
ざ〜ってすくって

真田 孔明：
ひどいっすねえ 笑

北野会長：
ね、あれはひどいわ、ま、最後にどういう事を落ち着いて行くがかね・・

真田 孔明：
うん

北野会長：
ま、我々は少しでも、甘い情報が入りゃ



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

いや、それだけしかないわ

真田 孔明：

はい

北野会長：

他ってないもん

真田 孔明：

う〜ん、今から入れる時だと、どれに入れようかってどうやって判断していくの？たとえばトリプルエンジンとか？

北野会長：

あ、あんまね

真田 孔明：

あと何か、色々ありますよね

北野会長：

そうそう、あれね、やっぱ順繰りに

真田 孔明：

はい

北野会長：

数持とった方がええやねん、で1箇所が

真田 孔明：

はい

北野会長：

絶対安定しとるなんてのは

真田 孔明：

やめた方がいい？ちゃんと



北野会長：

うん

真田 孔明：

順番に？たとえば2,000万とか引っ張って来るですか？そうしたらもう分割して入れ、入れる
みたいな感じですかね？

北野会長：

そう、俺ね、この間、その清算の時の

真田 孔明：

はい

北野会長：

書類、インプットしてあるの

真田 孔明：

へえ～

北野会長：

あれ？俺、メガネがないと全然見えんから、ここに書いてあるやろ？

真田 孔明：

笑 55、すごいですね？

北野会長：

パーセンテージ

真田 孔明：

う～ん、あ、これあれから来るやつですね？

北野会長：

そうそうそう、楽天から来る通知

真田 孔明：

通知

北野会長：

あの、やっぱ清算しとかんと・・・



真田 孔明：
そのままですね

北野会長：
同じようなのがあったんだ、ここに

真田 孔明：
こうなってみんな勝った勝ったって言ってますね

北野会長：
40%、当時

真田 孔明：
ん？55%

北野会長：
そうやる？

真田 孔明：
途中で、途中でもう40%超えてましたもんね

北野会長：
あ、本当？

真田 孔明：
う～ん・・・でもこん中から、これから入れようってする時って、こうどうやって選んでったらいいんですかね？いつも、感覚的に？

北野会長：
どうにでも行けるやる？

真田 孔明：
はい？

北野会長：
いいものだけを

真田 孔明：
はい



北野会長：
入れてくれとは聞いとくけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、今どれがいいですか？言うたって、俺ね

真田 孔明：
いつ、いつもどうやって決めてるんですか？決める基準みたいなやつを

北野会長：
俺はね

真田 孔明：
はい

北野会長：
簡単なの

真田 孔明：
はい

北野会長：
こう、認可申請がある

真田 孔明：
はい

北野会長：
投資、投資信託

真田 孔明：
はい

北野会長：
認可もらわなんといけない



真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、そしたらさ、担当の人がさ、「君んこのファンド、これ大丈夫なの？」というわけよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

「いや、うちのファンドは、もう今のところ、預かり金で儲けて

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、要は、地下タンクにこれだけ位あります」と

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

これでいいわけよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

「間違いないんかい？」

真田 孔明：

うん

北野会長：

「いやいや、間違いありません」

真田 孔明：

笑

北野会長：



でもそんなに多くもないな

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、そのトリプルエンジンなんてのはね、50ヶ月超えて貸した

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だいぶ保留しとるはずや

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、これを本当は元の200円に、何で上げんか？っていう話もあるんやけど

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

あの〜、俺、楽天のグローバルリートや、楽天トリプルエンジンか？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、やっぱ19年までを・・・オリンピックやな？

真田 孔明：

はい

北野会長：

そこまでリアルを買ってってしまつとると

真田 孔明：

はい



北野会長：

ね、そしたらさ、信用問題になるやろ

真田 孔明：

うん

北野会長：

万が一ったら

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、だから継、継続は力なりと

真田 孔明：

はい

北野会長：

こういうのが戦略で来とるらしい

真田 孔明：

おお～

北野会長：

50ヶ月やて、そんなもんあんた、そんなもん世の中でんなバカげた話ある？

真田 孔明：

うん

北野会長：

あれ、内部保留しとったら、確か税金も長いやね？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

で、何で吐き出さんがかって言うたら、やっぱ継続は力なりと



真田 孔明：

う〜ん、ず〜っとちびちびちびちび出すと？

北野会長：

そう、諮問委員会やし

真田 孔明：

はい

北野会長：

失敗は許されない

真田 孔明：

失敗は許されないから 笑 そう、任期中は特に・・

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

なるほどね

北野会長：

そういう話らしいやな

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

聞いたら

真田 孔明：

他のやつってのは？ どういう流れなんですか？ これってのは？

北野会長：

そりゃまあ、あの〜、1万円の債権が超えとるやつもあるやね

真田 孔明：

はい、1万円超えちゃってますね、これね

北野会長：



うん、で、持っても最近上がってないけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

これが一番最初になかったかな？

真田 孔明：

これちょっと危ないって事ですかね？もう？1万3,000超えちゃってるから？

北野会長：

うん、値段の規準価が高過ぎてさ

真田 孔明：

うん

北野会長：

わかる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

債券は1万スタートなのに

真田 孔明：

うん

北野会長：

1万3,000超えとる事は

真田 孔明：

はい・・・高いですよね？

北野会長：

うん、10億貯める人は 笑 えらい13億になってるわけ

真田 孔明：

だ、そうですよね、最初にね、10億で買った人達はね



北野会長：

そうそう

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、かつ配当金はどんどん取っとるわけ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

今

真田 孔明：

今からやろうとすると、これもう基準超えちゃってますもんね？1万円ね？

北野会長：

そうそう、だから、やっぱ基準 笑 超えてない方が安全かなという気がするんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

「これ大丈夫ですか？」言うてのが、聞きにくいよ？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

相手もまた、あっちに聞かんならん

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

どお？



真田 孔明：

で、北野会長がこれから、い、たまに入れるわけじゃないですか？引っ張って来たやつとか？

北野会長：

俺は下がったらね？

真田 孔明：

うん、あ、下がったら？

北野会長：

下がったら大きい声で言うよ、ばかやろう何をお前、ねえ、人んどこに言いに来とるやて？

笑 こんなもん言わなきゃさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ま、そりゃプレッシャーやからね、相手に対する、でも本気抱いて言うたらさ、誰も

真田 孔明：

うん

北野会長：

付き合わんようになるよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから酒でも飲んで、女郎街でも行って

真田 孔明：

うん

北野会長：

「あはは」言うて、最後に別れるから、こう長〜いことこう続くわけやろ？

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
いい人間関係が

真田 孔明：
笑

北野会長：
でも株の方もそう、FXもね、それこういうもんであるのやで？

真田 孔明：
うん

北野会長：
あんたも知っとる通り、悪代官と越後屋と昔からあって

真田 孔明：
昔からね、ほら、江戸時代から

北野会長：
笑

真田 孔明：
笑

北野会長：
孔明さんは

真田 孔明：
はい

北野会長：
どっちの派か？ 笑 どっちになっていくかが今の問題やから

真田 孔明：
越後屋がいいですね

北野会長：
笑



真田 孔明：
越後屋がね

北野会長：
いや、でもそれだけのもんやから

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
この勝負は・・・そんな時を団体戦でつかかかるか、でもまあ、もう10年経ったら、俺は今度74になるから、どうもやばい 笑 やっぱあの天下じゃさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
順繰り回ってくる・・・ 笑

真田 孔明：
笑・・・でもそれハワイの人とラスベガスの人、え、やっぱ70歳代と80歳代ですか？

北野会長：
まだ80前やと思うけど

真田 孔明：
80前ですか？何十歳代ですか？

北野会長：
フロリダの奴もおる

真田 孔明：
フロリダもいるんですか？ 笑

北野会長：
うん

真田 孔明：
フロリダも 笑



北野会長：

でも、もうやき回っ、あのサイト見たやろ？あんたも？

真田 孔明：

はい

北野会長：

一杯の、あのウイスキー、マッカラン

真田 孔明：

はい

北野会長：

60万やろ？一杯？グラスで？

真田 孔明：

あれ会員になるの、だって600万と6,000万円ですよ？あそこ？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

最初にお金 うけとるんですよ、すごいですね、あれ？

北野会長：

だから 笑 練習せなあかんじゃ、あんた 笑

真田 孔明：

そう、あのサイト見て、ちょっと刺激浮けて、今の北野倶楽部のね、あの書き直し 笑

北野会長：

笑

真田 孔明：

秘密クラブにしようって言って、で、ジョホールバルにオフィスがあるじゃないですか？

北野会長：

ああ～

真田 孔明：



あそこも使っていいよってして

北野会長：

笑

真田 孔明：

あと、ポンデロッサもあるじゃないですか？

北野会長：

ああ

真田 孔明：

そこも使っていいよって 笑

北野会長：

そうそう、使わしとけばね

真田 孔明：

うん、どうせね、まあ家賃、ちびちびもらってもね、たい、二束三文にしかなんないんで

北野会長：

そうそう、だ、人に使わしといた方が

真田 孔明：

うんうん、で、ポンデロッサ来て、ここはもう会員は使えるよと、ま、プラチナはって

北野会長：

うんうん、俺の部屋も大体、全然問題ない

真田 孔明：

笑 マレーシアの・・

北野会長：

遊んどるよ

真田 孔明：

うん、あんまりあの～、お子様達も来ないんですか？あっちは？ジョホールバルとか？

北野会長：

う～ん、そんなに



真田 孔明：

ハワ、ハワイ行くけど、あっちは行かない

北野会長：

そうそう、そんなに

真田 孔明：

笑 JBには行かないですよ？ 笑

北野会長：

いや、いやだから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そうやって持っとればさ・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

まあ俺が言うとするのは、FXとかさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれでも、その場勝負にもなる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

でかい勝負や

真田 孔明：

はい



北野会長：

今はやっぱ、ここ、ね、あんたの生徒が育つのを待って 笑 なっかなか難しいじゃね、あんた育てる先生みたいなもんやないかい？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺はさ、あ、どっかで勝負できたら、面白いなと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

世の中ってさ、孔明さん、わし等が思うとるようなね、純情さはないぞ？世の中に 笑

真田 孔明：

笑 純情

北野会長：

本当やて、あそこ行って話聞いとったら

真田 孔明：

うん

北野会長：

ため息が出そうな話ばっか、みんなしとんなかい、あんたの言う、短期間で、何でお前、17兆も儲けなやて、まだ文句つけるなら・・・ 笑

真田 孔明：

恐ろしいですよ、本当に、あれはやっちゃいけないっていう、でも誰も気づかないですよ？やっぱ

北野会長：

いやあれね、文句言いようがないんやて

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：



こう、どう言うのかな？波の取り方がうまいやろ？だ、要は手馴れとるんや、木刀持っても真剣持っても、かんた〜んに波を、そやろ？切っとるわけやないか

真田 孔明：

はい

北野会長：

でも300兆のたまを持っとるからさ、誰も反抗はできんやろ？

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

そやろ？「おお、そうか、農協団体がこうだか・・・、じゃあわし、売っとっか」みたいにやられたら終わりやもん

真田 孔明：

本当ですよ、大きく動いた瞬間にやられるんすね

北野会長：

うん

真田 孔明：

あれ、銀行も、非銀行も、で、政府機関もやられてるって気がする 笑

真田 孔明：

民間だけだったらわかるんですけど、政府もやられてるってこの銀行と 笑 容赦ないっすねえ

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

銀行からも・・・ 笑 びっくりしますよね

北野会長：

でもね

真田 孔明：

はい



北野会長：
今度の解禁はでけえのこれ

真田 孔明：
今度の？

北野会長：
解禁

真田 孔明：
解禁

北野会長：
そう、元本返さんでもいい

真田 孔明：
あ、元本、銀行の

北野会長：
システムなってるからさ、ね、おじさんがそれを提唱しとるんやから

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
ね、だから何で、あんたの言う1%しか残らんか？

真田 孔明：
うん

北野会長：
ね、そりゃ若いから暴走するという事もあるけども

真田 孔明：
うん

北野会長：
本当は育てとらんの、国が



真田 孔明：

はい

北野会長：

借金取りに、国が焦ってさ

真田 孔明：

うん

北野会長：

仕事するから

真田 孔明：

はいはい、うん

北野会長：

うまくいっとらんがでないか言う説

真田 孔明：

うん

北野会長：

の元やねんね、これが

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

何ならさ、わし等にこう、ただでよこせないか、本当

真田 孔明：

うんうん 笑

北野会長：

いやそれでも俺は、利息払うんや

真田 孔明：

笑 利息だけ 笑

北野会長：



ん～、それで話せんのか？

真田 孔明：

はい

北野会長：

北野倶楽部、1兆円ほど、融資せいと 笑

真田 孔明：

倶楽部に 笑

北野会長：

次の所は

真田 孔明：

はい

北野会長：

まあでかい話っちゃあ面白いやろうが

真田 孔明：

う～ん、人が集まって来てる

北野会長：

そやる？・・・あんなもんどっちみち、印刷機で撒いとるだけなんやから

真田 孔明：

はい

北野会長：

細かい事言うたってしゃあねえやろうが？

真田 孔明：

う～ん、真面目にビジネスやったら勿体無い

北野会長：

な、今ね、日本でね、真面目にビジネスやっても、どうもならんがや、あんたのデータ通りや

真田 孔明：

う～ん



北野会長：

そやる？絶対、アウトなんやから

真田 孔明：

うんうん・・・恐ろしい

北野会長：

でも今度、あんまえげつない事あんた書くと、あんたがマークされても良くないと思うから

真田 孔明：

うん

北野会長：

何やったっけ？シンガポールに家で与沢見て

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

あれ、もうガサかけられたやろ？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

彼ね、誰がやきもち焼くか知っとる、もっとずっと高、わしらよりずっと高い一般企業の社長が

真田 孔明：

はい

北野会長：

あのサイト見るやん？

真田 孔明：

うん

北野会長：

こういう生意気なもん野放しすっと



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ろくな若いもんは育たんぞと

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

ね、日本のおじさんはどう思ってる 聞いたら、あんたの言うね、いい、いい大学、ね、いい就職で、ロボットを

真田 孔明：

ロボット 笑

北野会長：

そうそう、ね、自分の号令を聞くロボットが欲しい訳やから

真田 孔明：

あんまりそういう、影響力ある人が出過ぎちゃうと困る訳ですよ？余計な事考えちゃうから？

北野会長：

そうそう、だ、ホリエモンみたいになったりさ

真田 孔明：

うん

北野会長：

村上になったり

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

みんなどう？あれ？

真田 孔明：



う～ん

北野会長：

あんましやるとさ、おじさん達の反撃が余計やと

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だ、俺が言うとするのは

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

あくまでも200万円の金利を払って

真田 孔明：

はい

北野会長：

600万、2X3が600万円の、これを奉仕すると、国に

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、それを銭でやれば山が高くなるよ 笑

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

この論法じゃ、これをね、推し進めていかんと・・・

真田 孔明：

はい、このちび、ちびちびとしたこの地道な

北野会長：

そうそうそう 笑



真田 孔明：

地に足をつけた、派手になんないように

北野会長：

派手になったらじゃ、派手になったら

真田 孔明：

今回、サイトも全部変え、作り変えて、東京案件とかそういうのも、全部書き直したんですよ

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

あの、含めて、この

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

噂されているとか、そういう感じの 笑

北野会長：

笑 遠まわしに？

真田 孔明：

もう、全部作り変えて

北野会長：

でもサイトはさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

あの〜全体を、国も監視しとるから

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：

これはさ、要は若者に企業を促すと

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、であんたが書いて欲し・・・あんたに書いて欲しいのは、潰れないように堅実にやらんとあかんと

真田 孔明：

はい

北野会長：

ここら辺を拡大しながら

真田 孔明：

潰れないように、はい

北野会長：

ね、この潰れないようにいうこの一言が一番大事

真田 孔明：

潰れないようにね、倒産しない経営を

北野会長：

そうそうそうそう！

真田 孔明：

さしたいと

北野会長：

ま、これがまあ一番のでかい

真田 孔明：

はい

北野会長：

今回の題目かね？



真田 孔明：
潰れない経営っすね？

北野会長：
北野倶楽部でやっぱ、補助金もらわにゃあかんの？

真田 孔明：
笑 日本国の

北野会長：
そうそう 笑

真田 孔明：
納税を促してますからね

北野会長：
いや、でも俺が言うのは孔明さ

真田 孔明：
はい

北野会長：
おかしいと思うやろ？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
これより、たった1億1兆さ、ま、何人おるのか知らんけどさ

真田 孔明：
うん

北野会長：
各人に、俺が今言うたシステムやらしてみろ

真田 孔明：
はい、納税すごいですよね？

北野会長：



そやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

これを100人じゃなくて、もう1つ、1億10億に桁上げてみ

真田 孔明：

はい

北野会長：

今一番儲かるのは国だよ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それを俺は提唱したい 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

あのね、年寄り敵にしたらもうダメ 笑

真田 孔明：

わかりました、はい

北野会長：

危険なだけ・・・ 笑

真田 孔明：

納税、1億円

北野会長：

ま、みんなで頑張って、ね、日本の国のために頑張ろうみたいな 笑 サイトにすれば

真田 孔明：

はい・・・1億円で2,400万、だから3,000万円で600万納税ですよ？



北野会長：
600万円は、そうそう

真田 孔明：
納税ですよ？

北野会長：
納税っちゅうのか、金利でこうはねられるから、ありゃね、利息のがじゃ、配当金っちゃあ

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから20、ね、3,000万円もろうても、20%、600万円は

真田 孔明：
そうですよね、源泉徴収ですよ？

北野会長：
そうそう、源泉で取られるし

真田 孔明：
はい

北野会長：
200万は、ね

真田 孔明：
あ、1億円の200万ですね？金利の？

北野会長：
金利の

真田 孔明：
政策公庫の場合

北野会長：
そう 笑 そうすると2つで800万円になるやろ？お前？



真田 孔明：
800万円ですよ、確か1億円で

北野会長：
そやる？ね

真田 孔明：
年間

北野会長：
年間

真田 孔明：
で、これが、え～100人いると、もうすぐ8億円ですよ？

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
で、これが10億円になると、80億円の納税ですよ？

北野会長：
そうやる？

真田 孔明：
こんなの大企業でも、こんなにしてないかもしれないですよ？大企業とかこう、色んな事あるから

北野会長：
あのね、4,000万円以上利益上がるとる会社ってのはね

真田 孔明：
はい

北野会長：
3%か4%しか無いんやから

真田 孔明：
利益が上がっている会社は



北野会長：

600万社あってやぞ、600万の3%、4%はしれとる、しれとるやろ？んなもん？

真田 孔明：

みんな納税してないんですね？

北野会長：

そうそう・・わし等のはんめ売って納税するシステムを作ると・・こんなじゃダメかな 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

笑

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

いかにも悪代官が言いそうだ 笑

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

でも実際言ってさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

孔明、そういうような

真田 孔明：

うん

北野会長：

ものを、理想と論法をさ

真田 孔明：



はい

北野会長：

ね、やっぱだから底辺を

真田 孔明：

はい

北野会長：

Yにすれば

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

違うだろ？高さ倍するのは

真田 孔明：

うん

北野会長：

もっと違うやろ？ 笑 こういう俺は論法を言うとりわけやろが？ 笑 三角形の論法で、でそれを

真田 孔明：

うん

北野会長：

円に軸を回してもさ、ね、一人でやっとなら、こう面積しか取れんやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

それを、こう回す事によって、360人こうできると、ってデカイぞ！

真田 孔明：

う〜ん、あ、それがこの間の平城さんの、あの？

北野会長：



そうそう！

真田 孔明：
この三角形を

北野会長：
うん

真田 孔明：
ぐるっと回すっていう

北野会長：
そうそうそう

真田 孔明：
みんない、みんなで・・・笑 こんな、こんな感じです、あんま特権階級な理由を実現するってのは、あんまりよくないっすかね？じゃね？納税、それでね、あの～あおりを一切なくしてこの

北野会長：
ああ～

真田 孔明：
いきなり神語録から始めて、それで、え～っと10の秘術つつって色々

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
あおりを一切なしにして

北野会長：
うんうんうん、まあ・・・あおらんと・・・

真田 孔明：
はい、で、最後にの、ま、ゴールド、プレミアで、最後に用語集って、これね面白い単語がいっぱいあるから、ipadとかの・・・

北野会長：
うんうん、ああ～



真田 孔明：

それをずっと、ひたすらやるっていうこの、やつだったんですよ、俺、これ結構いけるんじゃないかなと思うんですけど

北野会長：

いやあんたの書き方うまいから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ただ俺が言うのは、今回ね、やっぱもうそろそろ、サイト見てさ、ね、変なもんもやっぱ、こうやって見とるもんやて？

真田 孔明：

はい

北野会長：

全部、あれ研究しとるらしいからね

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、だから皆さん、あんたの先輩か知らんけどさ、あの二の舞を踏まんように

真田 孔明：

はい

北野会長：

結局はね、追い出されっか、殺されるかどっちか

真田 孔明：

行き過ぎると？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：



ほどほどに・・北野会長は今まで、周りで派手にやってる人達を色々見ながらもう、常にこの笑

北野会長：

そう！

真田 孔明：

すくっところ

北野会長：

ああ

真田 孔明：

出過ぎず

北野会長：

俺は絶対出過ぎんが

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

俺ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

昔はよ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

友達も山やった

真田 孔明：

ああ～

北野会長：



で、今後ろ見たら、ほとんど・・

真田 孔明：
ほとんどいない

北野会長：
ね、あんた言うた通り、ほとんどおらん

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
20年間の

真田 孔明：
はい

北野会長：
悪い波・・

真田 孔明：
波、うん

北野会長：
で、あんたも知っとかれ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
あの、バブルなったやろ？ね、花屋のおばちゃんでも、僕の先輩達、1万円づつ、こうやって折ってさ

真田 孔明：
うん

北野会長：
折り紙にして、聞いとったもん、あのクラブ誰行ったかいうのを

真田 孔明：



うん

北野会長：
聞くだけに・・

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
1万円・・おばちゃんは、そんな何人もおったわけよ

真田 孔明：
うん

北野会長：
2,000円程の花束に・・

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、今日、「どこの社長行った？」「あのもうすぐみんな行ったよ」おばちゃん言うだけ・・

真田 孔明：
うん

北野会長：
で、おじさんは、さも花を買ったように、チップ1枚やって、その、1,000円程の花1つもろう
て、ま、一緒に上がって行くわけよ、ね、そしたらさ、まあ偶然に会った気がしねえ？相手は？

真田 孔明：
はい、ええ、なるほど

北野会長：
ね、ぱっ、「おう！社長！どうもどうも！」言うて、ぱっと行ってさ、横についてる女の子に、
「あ、何て言う名前？可愛いね？あんた？でこんな感じですか？」、でその花をやると、「で、
社長さ、今日、あの～今日またこう六本木のマンション1個出たんだよね」って、「買っとか
ない？」みいちゃんのためにみたいな事言うとするわけよ、で社長がさ、こう酔ってだいぶきと



るから、「うんそうか、まだそれ売れるんかい?」、「いやいや、社長さえよかったら」、ね、1回建て替えてもらって、また下駄履いて

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

下駄履きますよ、下駄っていうかね

真田 孔明：

うん

北野会長：

かませ

真田 孔明：

はい

北野会長：

「またチップあげますよ」、こう言うとりわけや

真田 孔明：

うん、はい

北野会長：

ね、そんなん昔は山程あった

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

僕の先輩達の不動産屋も

真田 孔明：

うん

北野会長：

学校の先輩だよ、ただの知り合いがね

真田 孔明：



うん

北野会長：

どれほどゼニ儲けてたか・・

真田 孔明：

う〜ん、ただで？

北野会長：

そう、ただで、で紙1枚でさ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、大体な、この、これが契約書だけど、このサインだけもらやあいいんだから

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

「おうおうおう」って、でそれがまた 笑 誰かまたその日、飲んで歩いてさ、また他の客に
会うやろ？これまた売ってるんやから、紙を・・

真田 孔明：

うん

北野会長：

それでも売れた

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それでも・・

真田 孔明：

うん

北野会長：



でも、ね、まああんたがよく書いとるそんな時代もあったいうね、あんた達から見たら、その、一人残らず死んだわ

真田 孔明：

みんな、自滅でしょ？ 笑 とめられなかったんですね、誰も 笑

北野会長：

本当・・・

真田 孔明：

途中でとめてれば大丈夫だったんですよね、でもとめられないんですよね、それね、1回やっちゃ
うと

北野会長：

あれね、うん、何でそうなったか

真田 孔明：

うん

北野会長：

あれ、日本の国はジャブジャブ抱いたん、金を、ね、金を抱いたのも日本の国やろ？

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ところが、あん時、銀行の編成やら何やら言うて回収したわけや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

金を

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、そしたら返される人間がいっぱいいたや、それが返される人間は、土地なり不動産なり、株なり持ってたわけや、ね、これ3つ売ったん、所有してる人が



真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、売ったらどうなるん

真田 孔明：

全部下がった

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、全部下がる、価値観が

真田 孔明：

うん

北野会長：

で、そんなもうブレーキがかからんわけよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、銀行は大蔵省から言われとっからやった、ね、で、一番損食ったんは、だから大蔵省なん

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

銀行のは、銀行なわけ

真田 孔明：

はい



北野会長：

所詮は・・・何で、だから中国はそういう日本の、失敗した事を山、山程知ってるから、その轍は踏まんわけや

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

賢いから

北野会長：

だから、わし等何で、そこ助かったかって言うたら

真田 孔明：

うん

北野会長：

必ず一歩後ろにおるや

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

が～んと派手な事せんが

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、車、「あ～トヨタが一番安全や」て、こういうタイプやなきや

真田 孔明：

レクサス 笑 外車じゃなくて？ 笑

北野会長：

絶对外車は 笑 そういうタイプじゃないやから

真田 孔明：

う～ん



北野会長：

ま、だから、ま、あ、それとさ、俺のこれからの提案やけど、あれ、会費納めとる人が

真田 孔明：

はい

北野会長：

会社の経費で落ちるやろ？あんだけの金入れとっても？

真田 孔明：

どうなんだろう？

北野会長：

落ちると思う

真田 孔明：

経理落ちないっすか？あれって？

北野会長：

落ちるよ

真田 孔明：

香港の会社に払ってる感じになるんですけどね

北野会長：

そうなのかな？ん～、いやいや今それを

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから商売に、ね、使っとった方がいいんじゃないかな？

真田 孔明：

あ、そうですか、どういった事ですか？

北野会長：

絵じゃなくて

真田 孔明：



はい

北野会長：
額に入った

真田 孔明：
はい

北野会長：
猪、今年なんやったっけ？

真田 孔明：
え〜っと

北野会長：
羊！

真田 孔明：
羊、はい

北野会長：
羊を、プレミアやったっけ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
会員とこに売っとくと

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、それをプレミア会員の人、買ったと

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、だ、そうすると金額がいくら知らんけど



真田 孔明：
骨董品

北野会長：
うん、骨董品や

真田 孔明：
香港の、うん

北野会長：
ね、で日本の画家が描いた

真田 孔明：
はい

北野会長：
絵を香港の会社が送ったとかさ

真田 孔明：
はい

北野会長；
ね、買った人は、それは骨董品やから

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、資産に上げるなりさ

真田 孔明：
はい

真田 孔明：
会社の規模ちっちゃくてもできるんですか？あれって？

北野会長：
全然、関係ない



真田 孔明：

笑 本当、そうなんすかねえ？見てないですけど、みんな

北野会長：

それは実物さえ

真田 孔明：

はい、あればそれが資産だと

北野会長：

うん、だから俺の所に、その羊が

真田 孔明：

はい

北野会長：

何枚かあったから

真田 孔明：

はい

北野会長：

あんたのところにあげるから

真田 孔明：

あ、本当ですか？ 笑

北野会長：

あんた達の会員のところに 笑 ね

真田 孔明：

うん、骨董品って最近よ〜くわかったんですけど

北野会長：

うん

真田 孔明：

やっぱりあの〜、ほら僕も物販の営業やってたじゃないですか？問屋さん、営業してたんですね、バンダイの、でもね、会長室にね、骨董品がやたらね、ぐわ〜ってあるんですよ、無意味に、ぎゅうぎゅう詰めんところにあるんですよ、それでそこ倒産したんですけど



北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

俺、お金全部逃がしてたんじゃないかと思って、あれ

北野会長：

いや、それも1つある

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それが1つ

真田 孔明：

はい

北野会長：

それと金屏風の話も1つ

真田 孔明：

金屏風

北野会長：

いや、結局さ、ってか、たとえば賄賂な

真田 孔明：

はい

北野会長：

たとえば、俺はたとえば孔明に賄賂

真田 孔明：

はい

北野会長：

払わない



真田 孔明：

はい

北野会長：

それで3億ね

真田 孔明：

うん

北野会長：

でここにさ、ペンキでさ、青いペンキに

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、描いとった皿が1枚あったと

真田 孔明：

はい

北野会長：

だからさ

真田 孔明：

笑

北野会長：

俺はこれを3億で買うわ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

これ資産やな？

真田 孔明：

はい、資産

北野会長：



ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

これわしんところ来る訳や

真田 孔明：

はい

北野会長：

ただ青い皿の方やで？

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、青の芸術的な皿の方や

真田 孔明：

芸 笑

北野会長：

わかった？ここだ

真田 孔明：

はい

北野会長：

みそとくそなんや

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、誰がその価値わかる？

真田 孔明：

わかんないですよ？本当に？



北野会長：

笑

真田 孔明：

確かにだから、そこ倒産したじゃないですか？

北野会長：

ああ

真田 孔明：

倒産したんですよ、それをもうほら、おもちゃいっぱい納品した後で、お金回収しなきゃいけないんですよ、営業

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

一応、パフォーマンスで

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

まあ、会社はわかってるんだけど無理だって・・・でもう何かそのね、会長室に座る鎧兜とね、壺とか、けどあったなあと思って、でもあんなのね、二束三文にしかなんないんですよ、あの 笑 全部

北野会長：

そやろ

真田 孔明：

確かにね、ついこの間、会った人が、会長直属で仕入れとかやってたんですよ

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

で、でもその会長も、骨董品が趣味みたいですわね



北野会長：
うんうんうん

真田 孔明：
それ普段の仕事だと、あの～もう、ちょっとミスったら、もう包丁を持ってこの

北野会長：
笑

真田 孔明：
刺しに来るみたいな感じなのに、何か骨董品だと、あの何か、「いや～だまされた」みたいに
言っていると、やたら 笑「だまされた」って言っていると、だ、おかしいなって思ってたけど

北野会長：
うん

真田 孔明：
何でこんなこんな、その人が骨董品でだまされるんだって 笑

北野会長：
そうそう、だから骨董品ってのは

真田 孔明：
うん

北野会長；
だまされるべき

真田 孔明：
べきなんですよ

北野会長：
物じゃ

真田 孔明：
本当、北野会長に言われてね、気がついたんです、途中で、はっと思って

北野会長：
あのね、スワロスキーっていう



真田 孔明：

はい

北野会長：

ものあるやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、ね、普通のを見てもダイヤモンドとスワロスキーとぱっと見て

真田 孔明：

はい、うん

北野会長：

ね、はっきり鑑定はできない

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、ところが

真田 孔明：

はい

北野会長：

世の中ってさ、恐ろしいもので、ね、じゃ5カラットの

真田 孔明：

はい

北野会長：

ダイヤモンドいってみた

真田 孔明：

はい

北野会長：



カットはTカットやて

真田 孔明：

はい

北野会長：

さ、一体いくらするの？

真田 孔明：

うん

北野会長：

わからんやで？

真田 孔明：

うん

北野会長：

世間は？

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、だからスワロスキーとダイヤモンドを、はっきりわからんような時代に、こう来たわけや

真田 孔明：

はい

北野会長：

そこでそこを商売にすれば、だから商売になるわけやろ？

真田 孔明：

普通にそんなの売っても、誰も買わないですもんね

北野会長：

だから、それがさ、こうどんだけ回るかの

真田 孔明：

確かに



北野会長：
商売だもん

真田 孔明：
確かにだって、え、普通に送金しちゃうと、中国の人も

北野会長：
うん

真田 孔明：
割り出せないですけど、物買ったら払うだけですもんね

北野会長：
そやる？

真田 孔明：
詐欺になっちゃいますもんね？

北野会長：
う〜ん

真田 孔明：
買ったの払わなかったら 笑

北野会長：
だから、たとえば会社の売り上げて言うやる？

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
ね、あんた今、あ、まあその、なんとか料でもらってるわけやから

真田 孔明：
うん

北野会長：
そんなもん額1枚 笑 たたとえば山羊か羊かわからん絵をよ？



真田 孔明：

はい

北野会長：

それしっかりした人が描いてないのはまずいけど 笑

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

しっかりかいていれば 笑

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

それを、ね、その値段やった言えばその値段だ、だからさ、その絵も飾ってさ、たまたまがちゃんって下に落ちたところするは

真田 孔明：

うん

北野会長：

全部こう損金や

真田 孔明：

損金、はあ～

北野会長：

わかる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

という事は儲かっとなる会社の人であれば、落ちた絵はしゃあないわね？

真田 孔明：

うん



北野会長：
その価値はなくなったと

真田 孔明：
「ああ〜っ！」ってこうやって、「ああ〜っ！」て、社員の前で 笑 「3億円の絵が〜っ！」
笑

北野会長：
それが昔から言う、さ、ね、金屏風の絵

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
金の屏風なんてんなもんね、安けりゃ3万円や、ま3万円じゃ王道だな、んなもんなん

真田 孔明：
ようやくみてきました。お客さんがみんなそれやってました、あの〜

北野会長：
うん

真田 孔明：
バンダイのお客さんが 笑

北野会長：
そう、だから 笑 年が若いからはっきりわかっただけで

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
ね

真田 孔明：
見て来てました、今まで

北野会長：
そうそう、だからよくこうやって



真田 孔明：

はい

北野会長：

注釈を聞くとよくわかるもんなんやで？人間っちゃあ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だから孔明さんも

真田 孔明：

はい

北野会長：

そこら辺を、もう少し大事に

真田 孔明：

はい、ちゃんとしっかりと

北野会長：

のところを考えたさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

経営の仕方を

真田 孔明：

はい

北野会長：

下のもんにも教えていかんとさ

真田 孔明：

う〜ん、いや、やっぱもう大学、やっぱ出ちゃうとこういう発想って浮ばなくなっちゃうんで
すよね、全く、本当恐ろしいと思いますよ



北野会長：

3×3=9と9×9=81がはっきりわからんがじゃ

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺から言うと

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、何でいや昔から習ってたからそれが正しいと、みんなこう思っとるんやから

真田 孔明：

うん、思っちゃう

北野会長：

そやる？だから年行った、ね、経営者がさ、若造を、そういう生意気な若造を、理解したくないやそこ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

自分の使いやすい部品にして、仕上げて

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

大学だいとるんやから

真田 孔明：

はい

北野会長：

それをさ、ね、こう、いや、駒のように使ってさ、と思っとるのがじじ共やね



真田 孔明：

う〜ん、彼とかやっぱマスコミとか出始めちゃダメですよね？あの、テレビ出ちゃったり

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

雑誌に出たり

北野会長：

派手な事やったら

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

一発でやられる、本当やで？

真田 孔明：

僕もなるべく自分を出さないようにね、してはいるんですけど 笑 一応

北野会長：

あんたの場合はね 笑 ちょっと浮き出るタイプやから、ま、ここでブレーキ踏んどかんとさ

真田 孔明：

はい、確かに危ないですね、ちゃんと

北野会長：

孔明さんも暴走してさ

真田 孔明：

暴走

北野会長：

ん？

真田 孔明：

え？どうしました？

北野会長：



俺、鞆どこにやった？

真田 孔明：
あ、鞆ここです

北野会長：
うん、置いてあるね

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから

真田 孔明：
はい

北野会長：
最後に俺がさ、真田孔明の暴走とかいうサイト書かない方がいい 笑

真田 孔明：
はい

北野会長：
ま、でもね

真田 孔明：
はい

北野会長：
なるよ、金は人を狂わすから

真田 孔明：
はい

北野会長：
今度さ、万が一引っかかったら終わる

真田 孔明：
はい



北野会長：
そんなにね、そんなにタマはさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
回って来るもんじゃねえ

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
俺みたいにさ、こういつも地味にして、して〜

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
ね、おじさんらしい事聞けば

真田 孔明：
はい

北野会長：
泣かず飛ばずかね？そんな感じなんやで、そっちの方が、安定しとるわけ

真田 孔明：
はい

北野会長：
俺から言うと

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
派手にば〜んと出ると



真田 孔明：

はい

北野会長：

ほとんど終わりや

真田 孔明：

はい

北野会長：

だからあんたもそこだけは

真田 孔明：

気をつけます

北野会長：

まあ、一步、まあ下がって、ジョホールバルにおっから

真田 孔明：

はい

北野会長：

あの姿勢を貫けば 笑

真田 孔明：

これだと急にね、何かシンガポールでなんとかのとかなちゃうと 笑 「フェラーリ買いました」とか 笑

北野会長：

そうそうそう 笑 それで大体終わり

真田 孔明：

敵も増えちゃうんですね？

北野会長：

そうそう、敵が増えて終わり

真田 孔明：

まだ僕あの～、36万円のセレナに乗ってるうちは大丈夫だと



北野会長：
そうそう、だ、本当そうやで？

真田 孔明：
う〜ん、確かにそうですね

北野会長：
何だろね？それをこう

真田 孔明：
はい

北野会長：
うまい事まわいていければ、結構

真田 孔明：
ちびちびと、う〜ん

北野会長：
いやだから、1億2,000万円を

真田 孔明：
はい

北野会長：
自分がかた〜く10年まわすと、娘2人のために

真田 孔明：
はい

北野会長：
これだけでいい

真田 孔明：
う〜ん、確かに

北野会長：
こう、真っ直ぐこう、あれ、突き進んだ方がいいの、うん、あわよくば1兆円なんてね、バカ
な事言うた人は全部死んでいっとる



真田 孔明：

ああ～

北野会長：

でね、1回、その、そういう話もせんならと思うんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

1回転んだらさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

飛んだら終わりや、日本の国ってのは

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、「復活戦あるよ、大丈夫やよ」って言うとりやん

真田 孔明：

うん

北野会長：

じゃそんなもんおるのか？世の中に？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ほとんどおらん

真田 孔明：

う～ん

北野会長：



与沢でね、お前、信用もなぎゃな、カードも切れんにゃ、そやる？

北野会長：

うん

北野会長：

なんもできんようになっとるんやから、あれ？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

そやる？それに反発して、前出るやろ？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、だからはったりで勝負せんなら 笑

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

はったりかけるやろ

真田 孔明：

だんだんはったりになっていく・・・

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、結局はったり負けするわけよ 笑 昔のお友達もね、みんなやっぱそんな、ね、そんな別に、倒産もしとらんのだけど

真田 孔明：



うん

北野会長：

ね、やっぱ一番が好きでさ、みんな、一番になる一番になるって、一番にならんと先に飛んで
いってしまう

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ほとんど窓から飛んだら、100階の窓から飛んだ人が多い

真田 孔明：

ああ

北野会長：

ま、振り返ってみりゃ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

んでまだその中にもね、悪い奴もおれば

真田 孔明：

うん

北野会長：

リッチの方も、「北ちゃ～ん、ちびちび稼いどっても、金だってあんまり貯まるもんじゃない」
と、で俺は、ね、二百何十億と百何十億の、1人は北海道、1人は四国出っのを、明治大学出
の先輩後輩なんやけど・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれまあ、4、5億のタマだけ抜いて会社とぼした・・・で、それもやっぱ面白くないと・・・金は
あるけど・・・まず奥さんがもう離婚やわ

真田 孔明：



う〜ん

北野会長：
車はリースや

真田 孔明：
はい

北野会長：
マンションは賃貸 笑

真田 孔明：
笑

北野会長：
ね、だから、う〜ん、難しいね、いや俺もどっちが嫌かわからんよ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
でもやっぱね、そら銀座や六本木の方には、近寄れんいうの寂しいやろ？面が割れてしもうと
るからさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
今後はどっちがいいとはわからんのけど、わしは、あ、こういうシンプル

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
シンプルやから

真田 孔明：
はい

北野会長：



派手にやって一発とられっからね

真田 孔明：

そうっすね、ネットでば〜んと稼いだやつ、全部飛んじやいましたから、僕も

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

う〜ん、今はもう、地道に地道でやって

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

ちゃんと、奥さんに・・

北野会長：

笑

真田 孔明：

自分であんまり持たないようにして

北野会長：

ああ

真田 孔明：

お金は、うん

北野会長：

で、結局はそうなんねん

真田 孔明：

ああ〜、持つと気が高ぶっちゃうんだよね、やっぱね

北野会長：

そう

真田 孔明：

爆笑



北野会長：

俺も

真田 孔明：

はい

北野会長：

本当はそういう事で

真田 孔明：

うん

北野会長：

何回かガサ入って

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、体まで身まで持ってかれたんやけど

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、後はもう忍耐や、耐え抜く力やから

真田 孔明：

笑

北野会長：

いや、そこまで孔明ね、やっても得はない

真田 孔明：

う〜ん、昔はもう、ぶいぶいで？ 笑

北野会長：

そうそう 笑 いや、それっくらいでもないけども、まあ、まあねえ



真田 孔明：

うん

北野会長：

まあそういう時期があったわけ、でも今はほう、昔逮捕なんてあんまされとらん

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

今、穩便に済ましてる

真田 孔明：

はい

北野会長：

その代わり、え〜、あの〜、江戸所払いやね？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

今、今は

真田 孔明：

はい

北野会長：

ほで、その所払いがある

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そやろ、でその島流しも、ないようなあるような

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：



ね、だからそうならんようにした

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

継続は力やねん

真田 孔明：

はい、地道に地道に

北野会長：

そうそうそう、だから

真田 孔明：

日掛け月掛け心掛け 笑

北野会長：

笑 ま、ちびちびと

真田 孔明：

はい

北野会長：

勝ちを取ってきゃええがな

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

焦ったらやっぱ足元すくわれる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それの方がね

真田 孔明：

はい



北野会長：
派手にやらんから、金ってのは残るの

真田 孔明：
う〜ん、気をつけます

北野会長：
俺は絶対そう思う

真田 孔明：
はい

北野会長：
あの〜、C氏にしたって、あんだけさ、一時で、たまつかんでさ

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、でエンジンば〜んとかう、アクセル踏んだやで

真田 孔明：
はい

北野会長：
フェラーリかビーエムか何か知らんよ？ 笑

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
ね、結局ああや

真田 孔明：
厳しそうすね？今ね？うん

北野会長：
俺どうや知らんけども



真田 孔明：

ああ～

北野会長：

絶対そんなもんやて

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

わしゃあんなもん、ね、50人どうやね100人程、俺知っとるんやから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

みんな一緒

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

孔明さ

真田 孔明：

はい

北野会長：

アクセル踏んだ後っちゃね、ダメ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

金回ってこんから

真田 孔明：

はい

北野会長：



ね、金が離れていくのは嫌がって

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺は絶対、C氏もそうじゃないかなと

真田 孔明：

はい

北野会長：

いやあんた等よう知っとる仲やから

真田 孔明：

はい

北野会長：

そうじゃないかなと俺は思うけど

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺、普段、後にも先にも、あのマンション、ここにいたあんたとここに会うた時に

真田 孔明：

ああ〜はい、1回

北野会長：

30秒も

真田 孔明：

30秒 笑

北野会長：

で俺はもう、情報持って言っとるから

真田 孔明：

はい



北野会長：

ね、本当、あんたには失礼やけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

あのマンションが本当に俺の名義に金払ったからなるんなかっていうくらにまで、心配しとったんよ？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

俺はよ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、俺はほう、そういうタイプなんや

真田 孔明：

うんうん、成程そうですね

北野会長：

石橋でもやっぱ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、叩いて渡って 笑

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

歩くようなタイプやから、言うとする事はあっとる



真田 孔明：

うんうん

北野会長：

で、やってる事は結構ね、ね、脇固めて

真田 孔明：

そう思います、はい、あと奥様も、ぴしっとう 笑

北野会長：

厳しいのよう 笑

真田 孔明：

後ろからこの 笑 常に 笑

北野会長：

そうそう 笑

真田 孔明：

うわあ〜っていう何か 笑 見えますね 笑

北野会長：

厳しいよ

真田 孔明：

でも本当に、あげまんの奥様で、すごいですよね

北野会長：

いや2つ上やからさ

真田 孔明：

う〜ん、その奥さんの名前が、うちと同じなんですよね

北野会長：

あ、本当？ 笑

真田 孔明：

爆笑 面白いっすねえ



北野会長：
最悪や

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
本当？

真田 孔明：
本当なんですよ 笑 びっくりしちゃったんです、あれって？

北野会長：
この前、みいちゃんとか何とか言うたらんだ？

真田 孔明：
そう、僕、みいちゃんです、みいちゃんです

北野会長：
そうか？

真田 孔明：
はい

北野会長：
また、一緒の字だったりして？ 笑

真田 孔明：
字は多分違うと思います

北野会長：
本当

真田 孔明：
はい、字は違います、びっくりしました、たまたまです 笑

北野会長：
何かめまいしそうな

真田 孔明：



笑

北野会長：

話した、ほお、来た

真田 孔明：

あ、そうです、肉、あ、いいですねえ

北野会長：

肉でも食べて

真田 孔明：

はい

北野会長：

元気をつけて

真田 孔明：

はい

北野会長：

でもやっぱ大事な事や

真田 孔明：

笑

北野会長：

これにんにくか？

真田 孔明：

にんにくですよ

北野会長：

切らんと食いにくい、でも

真田 孔明：

はい

北野会長：

ま、お互いの意味で、俺が思うのは



真田 孔明：

はい

北野会長：

派手な事して飛んだら

真田 孔明：

はい

北野会長：

あんたも、絶対それを

真田 孔明：

はい

北野会長：

精神的に考えとかなやる？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

下のが飛んだら

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、「あ～お前、孔明の細工であれ」、ね、「失敗したんだよ」って言われるのがおちや

真田 孔明：

そうですね、はい

北野会長：

本当やで

真田 孔明：

うん



北野会長：
人間ってやっぱ、絶対ね、下の者が

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、成功するとは言わんでも

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
飛ばない事もある

真田 孔明：
飛ばない、はい

北野会長：
飛ばなければ、生き残っとるやろ？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、そうするだけでも全然、ま、馬鹿はどんだけいっても飛んでってしまうけども

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
それは大事にしたほうがいいよ

真田 孔明：
はい

北野会長：
うまいこと育てれば、あれ全部、あんた達の会社の売り上げと

真田 孔明：



うん

北野会長：

共に組織になる、もし組織になったら、あんた山口組と一緒にや

真田 孔明：

笑

北野会長：

給料があれば、社員の待遇で使えるんやから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

俺はなかなかいい方法に

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だから大事な事は確かに大事なんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

それをもしできたら

真田 孔明：

はい

北野会長：

大変な

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

できた？



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そこに確かな情報流して、金儲けしてもらおう 笑

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

それもいつかは、やられる

真田 孔明：

はい

北野会長：

いつかは

真田 孔明：

はい

北野会長：

それを先に行って引っぱることやな 笑

真田 孔明：

うん

北野会長：

あのね、巨大な力にさえならにゃ、絶対に大丈夫

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だからそこを、見ながらな

真田 孔明：

はい



北野会長：
ま、無理は禁物

真田 孔明：
はい、わかりました

北野会長：
無理ムラ無駄ぐらいろくな事ないぞ？

真田 孔明：
はい、ま、とりあえず生きて行ければいいんだっていう気構えで

北野会長：
そうそうそう

真田 孔明：
はい

北野会長：
いやだから、人の前では、だから、頭下げて

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから実る稲穂になってさ、頭どんどん下げて

真田 孔明：
実る稲穂 笑

北野会長：
そやる？ 笑 え？ま、頭下げてりゃ、ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
偉い人がいたら、いやいやいや、代官様っていっぱい融通きく方法聞くなって 笑

真田 孔明：



う～ん

北野会長：
絶対そうやよ？

真田 孔明：
うん

北野会長：
上手く行かんだら、大きな声抱くこともあるけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
上的人是さ

真田 孔明：
はい

北野会長：
永遠に政策を作る

真田 孔明：
うん

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
下のもんじゃ、いつもその政策、政策に対抗するものしか作れんが

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
上は政策、下は対策しかない



真田 孔明：
はい

北野会長：
永遠にな

真田 孔明：
うん

北野会長：
このゲームは永遠にそのままや

真田 孔明：
永遠にそのまま

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
だから、お代官になれば、金儲けはできるんや、越後屋に・・ 笑 下におっから

真田 孔明：
うん

北野会長：
ね、これできるわけや

真田 孔明：
できる、うん

北野会長：
だからそれをどうやって

真田 孔明：
はい



北野会長：

なり、成し遂げるかが我々の、こう1つの課題なわけよ

真田 孔明：

そうですね、はい、四柱推命でもまさにその教えなんですよ、実はあれって

北野会長：

あ、本当？

真田 孔明：

そういうダイヤルでやってるんですよね

北野会長：

あ〜ん

真田 孔明：

それで学んでわかったんですけど、色々、自分が出ちゃうと、財がなくなるし

北野会長：

うん

真田 孔明：

みたいな

北野会長：

そう！

真田 孔明：

そういう

北野会長：

前出りゃ終わり

真田 孔明：

はい、タイトルとか、その地位を追い求めると、お金がなくなるしみたいなもう、本当そういう話なんですよ、あれ

北野会長：

本当そうや



真田 孔明：

はい

北野会長：

俺だから解くとそこを

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺そんな事、誰からも習った事ないけども

真田 孔明：

勘で全部やられたんですね？ 笑

北野会長：

勘、勘野郎

真田 孔明：

勘ですよ 笑

北野会長：

だ、上には政策

真田 孔明：

はい

北野会長：

下には対策しかないんやから

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、だから政策を作ったものに、対策の必ず抜け道は作ったるが

真田 孔明：

ああ～

北野会長：



ね、永遠の課題やから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

八方塞はねえや

真田 孔明：

はい、彼はもうわかってるんですね？

北野会長：

そう、そこを聞いて来た方が早いわね？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからね、勉強してね、四の五の言う

真田 孔明：

笑

北野会長：

誰も相手にせん

真田 孔明：

はい

北野会長：

孔明さ、あんたアホでないかい？

真田 孔明：

はい

北野会長：

と、こうなるのやから

真田 孔明：

うん



北野会長：

だからそこだけはね、よく理解しとかにゃあかん

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

まあ、そ、それが一番でかいかの？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

あとはまあ、う〜ん、まああんたはやっぱ、サイトのねえ、タイプを打たん、あと、あんた騒いでてまだ・・・こう25から騒いでたいて、40なら15年か？

真田 孔明：

今、38です、はい

北野会長：

本当？15年ぐらいさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

やっぱどう考えてみても

真田 孔明：

はい

北野会長：

もうわしはその、だからその倍、ねえ

真田 孔明：

うん、40何年ずっとやるって事ですね？

北野会長：

そうそう



真田 孔明：
飛ばす事なく

北野会長：
飛ばすんじゃなくて、ここがね、何か勘違いしとるんじゃないかって

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
無理をしとらんために

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
会社ってのはさ、たとえばあなた言うて

真田 孔明：
はい

北野会長：
会社でも

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
危なかった日もあるのやで

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
たとえば危なかったって、ね、だ、危ない系には絶対行かん事なん

真田 孔明：
う〜ん、そもそも論で・・



北野会長：
そうそう

真田 孔明：
はい

北野会長：
俺もイスラム行ってね、鉄砲持たんとき行って、つかまったが

真田 孔明：
爆笑 嘘

北野会長：
いや、ほら、バカな事したいとこやからね

真田 孔明：
ええ、やばいすよね、ええ、まずいっすけど

北野会長：
それとおんなじ

真田 孔明：
はい

北野会長：
事なんやて

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
でも無理してね

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、売り上げが上がらん

真田 孔明：



はい

北野会長：
のあったやろ？前？

真田 孔明：
はい

北野会長：
バンダイでも

真田 孔明：
ああ、あります

北野会長：
無理したら絶対どぼんなんやから

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
わかる？

真田 孔明：
はい

北野会長：
自分でやっとする事はそこ、そういうので

真田 孔明：
はい

北野会長：
笑 危険なところ行ったら、ぱっとさがられる

真田 孔明：
ああ～、そこの、あれですね

北野会長：
そやる？



真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、それができたら、ね、ね、こう左に鞘持つやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

居合いの鞘？

真田 孔明：

はい、居合い

北野会長：

右に、どういの？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ツカ持って、こうびゃ〜っと切るわけや

真田 孔明：

はい

北野会長：

これ見て

真田 孔明：

うん

北野会長：

こう左手に投信、右手に株式や

真田 孔明：

爆笑



北野会長：

俺もまた、あんたほどの、ねえ、する度胸はまあ見えとらんがね、うん、書いとるところを読んどると

真田 孔明：

はい

北野会長：

孔明がそこまで、まあ見えとらんがみたいやなっていう

真田 孔明：

う〜ん、なるほど

北野会長：

不安さ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ていうとる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だからあの、まあ全体は一緒なの

真田 孔明：

はい

北野会長：

全体のサイクルはおんなじなの

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、だからどう、こうコントロールするかだ



真田 孔明：

う～ん

北野会長：

下のコマを

真田 孔明：

はい

北野会長：

な、こう回しゃ、このままそのうちあんたの一人勝ちやわ

真田 孔明：

うん

北野会長：

な、たとえばこの間、川島に会った言うて書いてあった

真田 孔明：

はいはいはい、一昨日、うん

北野会長：

ね、ね、でもあのね、ああいうね、淡々と書く文章

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれってのはね、平民はやっぱつんだって来るんやて

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、でもあんたの文章はほう、野心家がついてくるやつ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：



平民はね、あんまり金払わんの

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

平民はボートに乗ってね、「きゃ～」言うて

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

笑 「きゃ～」言うて来るんわさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、だからサイトの違いがあるから

真田 孔明：

はい

北野会長：

その倍率は絶対あんたの方がでかいわけ、きってるわけや

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、だからどう言うのかな？あの～オフィスクラブやら何やら言うて、書いとったおじさん達
おったやん？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、おったやろ？ね、だからああいう具合にならん事を、まずあればさ、ど、どういう？その、
これがよかったら



真田 孔明：

うん

北野会長：

粉かけゲームみたいなもんやないか？あれ？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

な、ああいうのでたらね、結局世の中は回っていかんが

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、実体社会を作り上げていかん

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺はあんたに望みたい事は、日本の国に恨まれんと、かつ自分も伸びていかれるシステムを

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

作って欲しい

真田 孔明：

はい

北野会長：

うん

北野会長：

だから俺はね、言いたい事はそれだけなん

真田 孔明：

はい



北野会長：

だ、それじゃあんたがね、そううまく実行すれば

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、でかいもんや、絶対に倒産者を出さないシステム 笑・・・でね、永遠に生き残る

真田 孔明：

はい

北野会長：

システムやよ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

じゃ、俺の周りに100人の友達が生きとってみりゃ、きつついもんやぞ？ね、みんなで100階から飛び奴ばっかやないかい、生きとりゃまだいがいど

真田 孔明：

はい

北野会長：

100階ぐらいじゃなかなか助からん 笑

真田 孔明：

助からないですね、う～ん

北野会長：

だから、まあ飛び降り自殺のないようにやね

真田 孔明：

うん

北野会長：

お父さん、元気なわけ？あんたの？



真田 孔明：
いや大丈夫です、はい

北野会長：
本当、12月6日生まれの？ 笑

真田 孔明：
本当、そう 笑

北野会長：
すごいね

真田 孔明：
不思議ですね、1年違いですけどね

北野会長：
ん～、まあ俺も、ね、星の巡り合わせて会うとるんやから

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
俺も半分はだからそう思うとるんや

真田 孔明：
う～ん、本当、四柱推命って、やっぱりそう思いますね、色々

北野会長：
ああ～ん

真田 孔明：
そういう統計学やって

北野会長：
運命、運命ってやっとなだけ

真田 孔明：
本当にもう、すごいですね



北野会長：
本当にでも、孔明、何か人の出会いは案外そんなもんなん

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
あの～、俺の方は

真田 孔明：
はい

北野会長：
毒気が強いから

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、まあそう思って付き合っとらんとあかんよ

真田 孔明：
はい

北野会長：
毒気が強い

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
だ、あんた言う、肝臓が強い 笑 腎臓が強い

真田 孔明：
はい

北野会長：
毒気が強い

真田 孔明：



う〜ん

北野会長：

俺、人殺した事はねえけど

真田 孔明：

うん

北野会長：

毒気がやっぱ

真田 孔明：

はい

北野会長：

強いねえ、心配や、最近そんな事思うてさ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ほう、プラチナメンバーやったっけ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

リストあるんやったら送って、うちのさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

あの、女の子に

真田 孔明：

うん

北野会長：

何のファイルか知らんけども、はい、リストはあるんやろ？



真田 孔明：

はい

北野会長：

だそれ、住所も書かれるやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

名前と？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そこへさ貼り付けて

真田 孔明：

はい

北野会長：

打つから、うちの会社から送っとけいいんや

真田 孔明：

ああ

北野会長：

それで、あとはそれを今年に生かすがか、あんた来年に生かすがか

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、どっちみち、うちもな、いらんもんなん

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
だ、頼まれて

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、作者の名前も忘れたけど 笑 それが一枚本物なら大変なもんや

真田 孔明：
笑

北野会長：
笑 わかった？いや、そんなもんはね

真田 孔明：
うん

北野会長：
この間あんに言おうかなと思ったんやけど、事務所にもいっぱいあるがじゃ、わかる？あれが本当の全部金やったらお前、大変なお前・・・

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
そんな物はいっぱいある

真田 孔明：
うん、っていうか、みんなまだね、あれなんですよ、会費が小さいうちに、そんなものを資産計上して大丈夫なのかっていう

北野会長：
ああ 笑

真田 孔明：
心配しちゃうんですよ 笑 会社が小さい、税理士に何か言われるんじゃないかとかねえ、みんなね、考えちゃうんですよ

北野会長：



でもね、あのやっぱ、あんたの役目としたら、税務相談もやっぱ受けたらんなやじゃ

真田 孔明：

うん

北野会長：

わからんもん、そのの

真田 孔明：

はい、何か、税理士、ああ、いるな、一人・・みんなの話聞くと、税理士がなんか絶対的なものだ、国税を税理するなんか、かぶせて何か見ちゃってますよね？普通の経営者の人って何か・・その税、税務署と税理士みたいな何か、税理士が偉い人だと思っちゃってて

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

みんな、やっぱり、で税理士が何か、やたらね、変に細かく突っこんで来る人とかもいるんですよ、やっぱり

北野会長：

だからそうすると

真田 孔明：

うん

北野会長：

自分の威厳を保たれる

真田 孔明：

はい

北野会長：

「お前、失敗したら殺すぞ」言うて、言うのが一緒なんやであれ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だ、人間はね、毎日ほう、飼い馴らされるのがそういうこと



真田 孔明：

はいはい

北野会長：

それをね、その恐怖心を解き放す、そこが難しいみたいよ？

真田 孔明：

う〜ん、やっぱみんなそこ、引っかかるみたいですよ、「税理士が税理士が」っていうんすよ

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

こんなものはこれ、資産計上したら、税理士に怒られるとか、え？でも税理士、徐々に支配論
になってる 笑

北野会長：

税理士

真田 孔明：

はい

北野会長：

ってのはね、弁護士

真田 孔明：

うん

北野会長：

もそうやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

弁護士もね、あれ、人を助けとらん

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
人を動かすのが仕事なの

真田 孔明：
はいはい

北野会長：
こうだった、これだけ取られました

真田 孔明：
はいはい

北野会長：
「孔明さん、どうすりゃいいんですか？」

真田 孔明：
ええ

北野会長：
これが仕事なわけよ

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、だから、今、世の中そういう具合にね、また作られとるんや

真田 孔明：
うんうん、あの人達が威厳保てるように

北野会長：
そうそうそうそう、びびらんように

真田 孔明：
はい

北野会長：
どっかの姉ちゃんが、「私、美容師だから、私も」



真田 孔明：

はい

北野会長：

「士の1人や」っていう

真田 孔明：

面白い事を言う 笑

北野会長：

笑 ただ本当やじゃ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

看護師とかさ、その職業のプロになったと、みんな勘違いしとるんや

真田 孔明：

うんうんうん

北野会長：

ね、あれ、なんで人？

真田 孔明：

はい

北野会長：

日本の国の紙に

真田 孔明：

うん

北野会長：

書くやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：



修了証か、大学卒業したら

真田 孔明：

はい

北野会長：

当たるやろ？お前

真田 孔明：

はいはい

北野会長：

ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、みんな、マトリックスとそんな中におるわけよ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

笑

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

いや、でもね、たとえば、それを俺が一生懸命説明しても、みんなわからんわけよ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、でもさ、まあ本当はいっぱいの人が、本当はマトリックス見とらん、たとえばハワイに行ったらさ

真田 孔明：



はい

北野会長：

朝7時半から働く労働者

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、ね、それを雇ってる土建屋、ね、それをつかさどる設計士？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、その発注者というふうにおるわけよ

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、発注者は7時半に何しとるかって言ったら、まだ起きてもない

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、どっちが給料高い？

真田 孔明：

発注者、はい

北野会長：

やっぱ朝7時半からこの人、うちでは6時半やで？

真田 孔明：

はい

北野会長：

おかしい？



真田 孔明：

うちの弟なんかね、農業10年間、5時半起きだったみたいですよ？ 爆笑 それで月収が20万円だったんですよ、びっくりしちゃったこの10年間、上がってなくて、しかも

北野会長：

だから

真田 孔明：

はい

北野会長：

世の中ってのはそうなってるの

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そやる？だからいかに、どう言うの？失礼やけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

働かんもんがキツイとは言わんけど

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

やっぱ考えたもののがキツイわけやねん

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

色々

真田 孔明：

はい



北野会長：

ほんでさ、考えんと必死に働いとる奴は、やっぱ死んで行くんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

間違いなく、僕の見方から言うと、特にね、働き過ぎた人はアカンが・・

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺はね、はっきり言えるのは、やっぱ何か、過ぎた人ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

うん、んで会社ね、よく、悪くなると

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

経営者やからさ、ね、必死に、やっぱ泳ぐわけ・・

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

この真ん中に落ちて、岸まで泳ぐのとさ、ね、太平洋の真ん中みたいなところで落ちて、泳いだら、鯨に食われるか、体力がなくて死ぬか2つや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

俺が言ったのは、そこを大事にして



真田 孔明：

はい

北野会長：

あんたのサイト見とったらさ、5,000万の売り上げとか言って 笑 あんな事やってお前、エンジンそんなもん5,000回転に吹かしたまま走ってみな？車でも？すぐエンジン焼けて終わり

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

あんたの言う5年持つまいぞ？ね、1年持って終わり

真田 孔明：

おお～

北野会長：

本当にそんないい産業なら、ちびちび食っとりゃええんやから

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

そう思わん？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ちびちびの

真田 孔明：

ちびちび

北野会長：

俺、よくしてね

真田 孔明：

はい



北野会長：

ね、でかい手広げて飛んで行く人は失敗するんやて、飛ばすから・・

真田 孔明：

確かにそうですね

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

絶対ね、手広げて飛んで行ったらあかん

真田 孔明：

はい

北野会長：

絶対に上着を、こうきゅっと締めて

真田 孔明：

締めて 笑

北野会長：

締めて 笑 本当にね、簡単な言葉やけど、できんがね、普通

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

みんな書いとるんじゃサイトに

真田 孔明：

はい

北野会長：

儲かったら・・



真田 孔明：

はい

北野会長：

ベントレーやったっけ？ 笑

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

フェラーリ買うて

真田 孔明：

フェラーリとか何とかと

北野会長：

アクセル目一杯踏んで？

真田 孔明：

はい

北野会長：

それ暴走運転やないかい？

真田 孔明：

爆笑 すぐにつかまっちゃう 笑

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

笑

北野会長：

世の中ってね

真田 孔明：

はい

北野会長：



そうなっとるんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だからこれもまた代官が取り締まってるんだから

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

笑 どうにもならない

真田 孔明：

でも北野会長の場合、もともとそういうエネルギーありつつ、それを抑えられるのがすごい
すよね？それやっぱり奥様とかのあれですかね？そういう風水の影響とかあるんすかね？

北野会長：

そやね、そういう事もあるよ

真田 孔明：

うん

北野会長：

確かに

真田 孔明：

もともとのエネルギーだって、恐ろしく持ってる本当にすごい 笑 よく抑えられるなってい
うあれがね、見ててあるんですけど

北野会長：

うん、だから一番きついの

真田 孔明：

はい

北野会長：

だらだらと遊んで歩く



真田 孔明：

はい

北野会長：

一緒に事絶対せん

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だ、そうかとやっぱ、人間って男やからさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

やりたい！みたいになこう思うやん？

真田 孔明：

はい

北野会長：

いったら終わり

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

絶対失敗するから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね、絶対ね

真田 孔明：

そこでブレーキ、止めるのがすごいですよね？

北野会長：



そうそう、だ、嫁さんが、「あんた、こっちの会社」言うて、言うたら何かぱっどこっちの会社見っから

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、こっちの方はもう忘れとるの

真田 孔明：

はい

北野会長：

それが俺の、やっぱいいとこなんや

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

俺は絶対にね、危険やと思ったら絶対アクセルは吹かさんもん

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

本当、ねえ

真田 孔明：

やっぱいろんな方見て来て、そこで踏んじゃう人はみんな飛んじゃってますよね？本当に？

北野会長：

そう

真田 孔明：

だから某Cさんも

北野会長：

そやる？

真田 孔明：



一人、カーブの危ないところでアクセル踏めちゃう人っていう

北野会長：

そう！

真田 孔明：

笑

北野会長：

少ないよ！

真田 孔明：

よ〜く見てると、確かに生き残ってる人ってのは、香港の大富豪とかそうです、もう、もうすごい地味ってかこの、超堅実で

北野会長：

うん、シンプル

真田 孔明：

シンプルですね

北野会長：

派手な、派手じゃないや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

派手な奴はもうダメ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

脇のあまい奴は 笑 もっとダメ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：



女に溺れる奴はもっとダメ、だ、俺は、前かなんかで、赤いドレスその女を後ろにね

真田 孔明：

はい

北野会長：

孔明追っかけとっても問題ない

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

孔明が赤いドレスを追っかけたら終わり

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

わかる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、だから女は、前におるか後ろにおるかだけなんやけど

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

その女が好きで、自分が追っかけりゃ、絶対終わりなんやて

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

ね、だ、その女が孔明が好きやからって後ろについたって来るのは大丈夫なんや

真田 孔明：

ああ、ああ



北野会長：
これは絶対大丈夫なんがじゃ

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
ね、女が前出て、雌鳥が鳴いたら必ず終わる

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
どんないいうちでも終わる、現に

真田 孔明：
やっぱり共通して、声が大きくて、え～目立って

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
自分がパーティーに連れた、連れて行きたくなるような女性と付き合っている人は、全員落ちてますよね？

北野会長：
そう

真田 孔明：
本当に 笑

北野会長：
それ、だから雌鳥が 笑 鳴くんだったら、うっちゃすたれる、これはね、ね、江戸の昔から言われとるんやから 笑

真田 孔明：
本当に見てて、もうやっぱね、でも四柱推命でも、これ、あ、内蔵の話も出てるんですよ、これ全部、本当は



北野会長：

ああ～

真田 孔明：

やっぱりこれ、吸い取り系の女っていうんですけど

北野会長：

そうそうそうそう、ま、それはね、詳しくは雌鳥と一緒になんがじゃ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ねえ、前にも先にも

真田 孔明：

はい

北野会長；

鍋になったら終わり、もう 笑

真田 孔明：

やっぱ四柱推命鑑定ってのでびっくりするんですけど、落ちた年ってのが、やっぱりわかるんですよ、実はあれで

北野会長：

ああ

真田 孔明：

そのタイプによって、でその時に、「こういう女性と一緒にいませんでしたか？」って言うと、みんな共通してるんですよ

北野会長：

笑

真田 孔明：

声が大きくて、派手で 爆笑

北野会長：

うんうん



真田 孔明：

それを夜の店から 笑 調達しちゃったみたいな 笑

北野会長：

だいたい終わりや

真田 孔明：

牢屋から・・ 笑 牢屋にいる虎を、外に出しちゃった 爆笑

北野会長：

最後に、最後に食べられた言うて、やったって

真田 孔明：

爆笑 みんな共通してるんですよね

北野会長：

うん

真田 孔明：

怖い事に

北野会長：

ま、あのね、人間ってそんなもんなの

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

いや、俺の友達でもね

真田 孔明：

笑

北野会長：

結構女でやっぱ失敗しとる奴も多いもんね

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
女に言うた事を真に受けてさ

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
ね、女のために？

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
その、その言葉言う事自身が最早・・

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
気違いみたいな話やで

真田 孔明：
はい

北野会長：
でも思うや本人は

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
彼女が言うところから

真田 孔明：
はい

北野会長：
クレオパトラの 笑 ねえ、その例の？

真田 孔明：



シーザーのアフリカの話

北野会長：

そうそう！一緒なんやじゃ

真田 孔明：

うん

北野会長：

でね、昔からね、こういうやっぱ説があった事やから

真田 孔明：

うん

北野会長：

ただ、うん、わしはだからそういう、どういふのかな？まあお客さんが医者ばかりやったから

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

そんな話を余計 聞いたから、う～ん、まあそうなのかなと

真田 孔明：

共通してやっぱ声が大きいっていう女性は

北野会長：

そう

真田 孔明：

危険みたいです、やっぱ

北野会長：

声が高い

真田 孔明：

うん

北野会長：



ね、前出たがり屋

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

私の方が上手、説明できるよって

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

ぐっところ、ね

真田 孔明：

パーティーに行きたがる人

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

笑

北野会長：

だ、絶対、大体どぼんよ

真田 孔明：

笑

北野会長：

笑 どぼん

真田 孔明：

これはもう、本当100%に近いから、怖いなって思ってこれ、それで下手するとね、相手が死
んじゅうんですよ、早死にで

北野会長：

ああ〜ああ

真田 孔明：



エネルギーを吸い取られちゃって、びっくりしますよね？

北野会長：

女にやる？ 笑

真田 孔明：

そうそうそう、本当、怖いですよね

北野会長：

いやそれはだから、伝説と一緒にやから

真田 孔明：

ですよね

北野会長：

何かあるんやろ？

真田 孔明：

あの、雪女もいるわけですよね？ 笑

北野会長：

そうそう、いやだから、立ててくれるもんでないと

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、うまくいかんが

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

テレビから出て来るような女でさ、どうもならん

真田 孔明：

本当だよ

北野会長：

わしはだから、ま、そういう事を踏まえてね



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ただあの〜、暴走せんとさ

真田 孔明：

はい、あの牢屋の中、牢屋って言うか檻の中のあれは、猛獣は檻の中に見に行くだけでいいんですよね？ 笑

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

ちょっと見に行く分には、あの 笑 動物園のように

北野会長：

そうそう、見て楽しむ

真田 孔明：

はい、見て楽しむ 笑

北野会長：

まあ、ね、ペットに従って

真田 孔明：

はい

北野会長：

出すと

真田 孔明：

持っていかれちゃうと食べられちゃう 笑

北野会長：

そうそう、簡単に食われて終わり・・・ま、明日何人ぐらい来るの？

真田 孔明：

明日は、え〜と、僕達入れて、9人



北野会長：
おお〜7人？

真田 孔明：
はい

北野会長：
ふ〜ん

真田 孔明：
前のメンバーとプラス2人ですね

北野会長：
その二人は何やってんの？

真田 孔明：
え〜っと物販ですね、今度は

北野会長：
物販や、ふ〜ん

真田 孔明：
あと1人、もう1人今回ここに来てないんですけど、公認会計士さんがね、入られてて

北野会長：
ふ〜ん

真田 孔明：
で、奥様がね、あの〜ジョホールバルでちょうどね、母子留学してる人で

北野会長：
あ、本当

真田 孔明：
そろばん教室もやってて

北野会長：
ほお〜



真田 孔明：
公認会計士さん、入りました。

北野会長：
奥さんはそろばん教室やってんの？

真田 孔明：
そうです

北野会長：
ジョホールバルで？

真田 孔明：
はい、母子で、あ、おんなじ学校に行ってるんですよね、ラッフルズ

北野会長：
あ、本当？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ほお〜

真田 孔明：
たまたま

北野会長：
笑 でも

真田 孔明：
はい

北野会長：
サイト、サイトじゃなくて、さわから言うとか

真田 孔明：
はい

北野会長：



わし等はほう、実行犯やから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

やっぱ邪魔になる者は、血吸っか、殺すかどっちかや

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

とこうなって来るんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

やっぱそこら辺のわし等の、こう辛いところ？宿命？

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だから俺は今度、逆に今言うとするのは、ね、越後屋の 笑 下の下請け会社をいっぱい作って
笑

真田 孔明：

はい、うんうん

北野会長：

ね、お代官様を、食うわけじゃないけど 笑 お代官様が喜ぶようなシステムを作ってね

真田 孔明：

上納システム

北野会長：

そうそう 笑 ね

真田 孔明：



はい

北野会長：

で、1人作りゃ怖いけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

100人でも 笑 プラス1,000人になったら怖いと

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、大体サイトに流しときゃさ

真田 孔明：

うん

北野会長：

見てさ、国税のもんもさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

お前、ねえ、都合の悪い話じゃねえだろ？ 笑

真田 孔明：

ああ～、ちゃんと納税をしようって言ってる？

北野会長：

そう

真田 孔明：

節税するのをやめましょうと 笑

北野会長：



そう、いや、こういう事を、ね、100人いれば1,000人、1,000人で1万人が、みんなで企業努力をすれば、日本の国はいい、豊かな、もっと豊かになる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

このスローガンでやったらさ、何か富士山みたいな話になって来るわけよ

真田 孔明：

なるほど

北野会長：

富士山のすそは広がったよ、みたいな事を、これならいいんでないかと思うんやけど

北野会長：

それでさっき

真田 孔明：

うん

北野会長：

兎か羊か 笑

真田 孔明：

はい

北野会長：

羊の話したやつを

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、それ1回あの〜、こういう人をたくさん増やそうと思ってる

真田 孔明：

はい

北野会長：



俺は、ね

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、たくさんね

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、ま、どうやろうと

真田 孔明：

はい

北野会長：

1人、最初から10億とは言わんけん

真田 孔明：

うん

北野会長：

1人、とりあえず1億ほどつつ配ってくれるかと

真田 孔明：

はい

北野会長：

そんなもんお前、東京の本社、判子押せば、そんなもんそやろ？名前わかつとる、住所も

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

それいっぺん考えてもらえんやろか？、（最初は）冗談で言わなあかんやろうが？

真田 孔明：

はい



北野会長：

細かい人やろ？そんなもんね、10年経って1%しか残らんより、絶対俺のシステム残るんやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

どう思う？

真田 孔明：

本当にそうですね、はい

北野会長：

と、この間、ま、思ったわけよ、ね、そうせんとハワイのおじさん達と 笑 立ち向かえできない

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、ロットがいいよね？

真田 孔明：

ロット

北野会長：

びびったわ

真田 孔明：

うん

北野会長：

いや〜、でも俺が100億持っとっても、その使い用も何もないや、こんなシンプルな生活してさ、そやろ？銭なんかかかる事ないんやから

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：

でも何かあのおじさん達にちょっと刺激された、まじ、本当に

真田 孔明：

笑

北野会長：

結構ね、半分はむかっと来たし

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

半分はむかっと来た、でも最後にね

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、こっちの組織がでかなりやさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

勝つよ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

組織の問題やから

真田 孔明：

はい

北野会長：

今やったらさ、昔のアメリカと日本の戦争と一緒にや 笑

真田 孔明：



ああ〜 笑

北野会長：

ボロ負けや 笑

真田 孔明：

日本ってあれですね、合同会社1個作って、そこに全員役員になった方がいいかもしれないですね、そうするとね、役員会議として、告知ができちゃうんですよ、全員に、何でも

北野会長：

ああ〜

真田 孔明：

役員会議って事で、じゃないと金商法とかあるじゃないですか？何か言ったら？

北野会長：

ああ〜

真田 孔明：

役員会議だと最後に、「いや、これは役員会議の、じゃあ議事録です、ああ、話し合いです」って言ったら、それで終わっちゃうんですよ？全部？あれが、法律の抜け道があるので、1個

北野会長：

いや、どのシステムにも抜け道は、必ずある

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、八方全部塞がっている事は絶対ないんや、必ず一方は抜け道として

真田 孔明：

今とかあの、声をかける事自体ができないじゃないですか？49人以上に？

北野会長：

ああ〜そうそうそう

真田 孔明：

そうすると役員会議だと、どんな内容でも話すじゃないですかね？合同会社作る



北野会長：

はあ〜、ま、それが人生だもの、その内さ

真田 孔明：

うん、あ、でもあのSさんは、ハワイのSさんとかね、サイトに載ってますよね？あの〜、ビンテージケーブの？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

ネットで写真見ると

北野会長：

いやいや、今夜まだ、ん？ハワイ島で会ったもう1人何やってんの？マウイ島にもおって

真田 孔明：

マウイ島にも

北野会長：

うん

真田 孔明：

結構有名な方なんですよね？でもね、あの人、すごい、あそこのちょうど屋台村に、僕の友達が、スパゲティー屋やってるんですよ、グリテンフリーの、で、あの〜、で

北野会長：

グリテンすごいよ 笑

真田 孔明：

ビンテージケーブの出資もしてるんですよ

北野会長：

ああ

真田 孔明：

だから僕、ただでいいって言ってたんですけど、さすがにみんなで何人も行ってただなんて語ったら 笑

北野会長：



笑

真田 孔明：

あとほら、子供がいると、やっぱダメみたい

北野会長：

ああ

真田 孔明：

ダメって言うかさ、ちゃんとね、スーツとか着なきゃいけないんで、あの～

北野会長：

笑

真田 孔明：

嫁さんと2人だったら行けたんですけど、ハワイはあの、置いてけないんでね、子供達を部屋に

北野会長：

ああ～、そうそう、うるさいよ？

真田 孔明：

逮捕って行ってましたもんね？子供置いていくと・・・あそこのお店の中行かれた事はないんですか？お店の中・・・ビンテージケープの？

北野会長：

行った事あるよ

真田 孔明：

あ、行きました？牢屋みたいな所

北野会長：

笑 あんな絵も、本、本当に本物のなのか？

真田 孔明：

笑

北野会長：

笑 嫌な話になったな、そんなんわからんぞ

真田 孔明：



笑 わかんないですね

北野会長：

いや、この間

真田 孔明：

はい

北野会長：

その話が出てさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ピカソの絵やら、こういっぱい、ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

連立、こう並べて置いてあるんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

誰かね、泥棒入って取ってってくれんかなと、保険もかけとっから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

でもそれってのはさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ほんまもん？コピー？



真田 孔明：

はい

北野会長：

わからんじゃろ？あんなん？

真田 孔明：

あんだけの店構えだったら、みんな信用しちゃいますもんね？

北野会長：

信用イコールはったりのわけ

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

はったりが信用作ってる

真田 孔明：

あれがだから、ぼろいレストランだったら誰も信用しないすけど、あのレストランだったら、
サイトとか見て、あ、これはもう保険会社も

北野会長：

笑

真田 孔明：

間違いないと 笑 この6,000万円も会費を取って 笑

北野会長：

だからあのおじさん、だから本当に

真田 孔明：

はい

北野会長：

はったり師なんや

真田 孔明：



はい、ああいう人達って、どう転んでも儲かるようになってるんですよね？これってすごいですよね？

北野会長：
いやだから、それを

真田 孔明：
はい

北野会長：
習得せにゃあかんよいう話をしとるの

真田 孔明：
うんうんうん、しかも全部やっぱりサイトに公開してるんですよ、これがこれでこれでこれで
て 笑

北野会長：
笑 いやだから、そのイメージがもう

真田 孔明：
はい

北野会長：
6,000万になっていく仕事なん

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
そやる？

真田 孔明：
で、あれにね、やっぱ600万、6,000万に、この、これは本当に生涯の内に消化できるかと・・・
飯代で・・・そういうのを考える人は入って来ないと 笑

北野会長：
そうそうそう

真田 孔明：
現実に考えてたら 笑



北野会長：

あ、それね、やっぱ貧乏人は絶対来んのやから

真田 孔明：

浜崎あゆみとかF1ドライバーとか、何かそういう系の人達が、何かその、何か世界の、今、でもメンバーになってるみたいですね？あれ？すごいですね？そのスパゲティー屋の彼いわく

北野会長：

このあいだのおじさんの話やけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

やっぱあの、8,000万ほどにしたかったんやと

真田 孔明：

はい

北野会長：

会員を

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

そしたらハワイアンオープンやるゴルフ場あるやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

笑 あれは7,000万ほどなんやと

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

だ、Sさんはその値段をつけたかったんやけど



真田 孔明：

はい

北野会長：

それはまずいからっ言うてハワイ衆に反対されて

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

6,000万にしたと、そういうのが本当らしい

真田 孔明：

ええ～、そんなのりなんですね、もう

北野会長：

そうそうそう

真田 孔明：

6,000万のあんな払って・・・だって、絶対に消化できないですもんね？あれ？飯で消える、ワインで消化できるったって？ま、デポジットっていったって・・・

北野会長：

でも1本160万円やる？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ワイン・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね

真田 孔明：

結構いけちゃうのか・・・



北野会長：

やっぱり ワッセワッセとお客さんでも連れてやれば

真田 孔明：

はい

北野会長：

消化できる

真田 孔明：

あ、消化、でそういうの考えちゃう人はもう、そもそも会員になんないですよ？

北野会長：

そうそうそう、それよりも、やっぱあのところへ、こう出入りしとって金になるから、出入りし
とるやつがおる

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

建築屋とかさ

真田 孔明：

ああ

北野会長：

うん

真田 孔明：

人脈とか

北野会長：

あのおじさん、あの、ハワイの、市長か町長か知らんけど、ね、あれも日本人やから

真田 孔明：

ああ～、日系の？

北野会長：

そうそう、日系3世とか



真田 孔明：
ちゃんとつかんでるんですね？

北野会長：
そうそう、つかんどる

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
金たましっかり

真田 孔明：
しっかりと 笑

北野会長：
だから、そこのだからパーティーに行ったら、うちみたいに、ね、嫁はんいわくは、「あんた
こんな連中と付き合うたらあかんわ」て

真田 孔明：
ああ〜、また違うんですか？日本とこの雰囲気か？

北野会長：
そうそう、全然また違う

真田 孔明：
また派手って言うか何か

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
ああ〜

北野会長：
だから家でホームパーティーで

真田 孔明：
はい



北野会長：
楽団連れて来てさ

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
やっとりやる？

真田 孔明：
1回にやっぱ何百万、1,000万とかかけたり

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
そういう感じのパーティーなんですね？見栄とかそういう

北野会長：
そう、見栄

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
そうそう、見栄の塊みたいなパーティーやで？

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
あんガキ共は、わしをだから少年やとかって言うた、ま、いずれこのナイフでもって殺せられないかと

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
敵の方は、力持ちやからあかん 笑



真田 孔明：

爆笑

北野会長：

歯が立たんっちゃ 笑

真田 孔明：

世界の大富豪にこの、挑戦みたいな 笑

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

あの人達って本当有名な、やっぱ世界のトップ系の人達なんですね？日本人の中で・・

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

本当にもう

北野会長：

な、でもね

真田 孔明：

はい

北野会長：

アメリカの1%っちゃあさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、せいぜいプラスあんなほどのもんなん

真田 孔明：

ああ～



北野会長：
きっちり力あるわね

真田 孔明：
う〜ん

真田 孔明：
そういや全く話飛ぶんですけど、ちょっと僕の体治してくれた、この名医がですね

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
東洋医学の、いたじゃないですか？あの人が邱永漢のね

北野会長：
う〜ん

真田 孔明：
邱永漢って知ってますかね？

北野会長：
邱

真田 孔明：
日本人と台湾人のハーフで

北野会長：
ああ、ああ

真田 孔明：
6,500億ぐらい持ってるみたいに言われて・・・本もいっぱい出してるでしょ？

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
食は広州にあるっていう、あの人の主治医やってたんですよ

北野会長：



ふ～ん

真田 孔明：

90歳以上でお亡くなりになっちゃったんですけど

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

でもその人が言っていたのは、あの、不動産もいいけど、え～っとこの「コーヒー畑が儲かるんだよ」って、「コーヒー豆が儲かるんだよ」って言ってたみたいですよ

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

それコーヒー畑を持ってるみたいですわ

北野会長：

ほお～

真田 孔明：

それで小売店も持ってるんですね

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

でもその間に、20社の問屋を通して

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

それで最初、意味がわからなかったみたいです、それが何で儲かるのかって

北野会長：

笑

真田 孔明：



それで全部通して、全部買う、確かに全部引っ張ってったっていう 笑 20社から

北野会長：

笑

真田 孔明：

コーヒ一豆が多分途中、ぐるぐる回ってたりしたんでしょうね？あれ？

北野会長：

笑

真田 孔明：

ずた袋の中に入れて、意味わかんないし、そういうのやってたんだって今わかったんです

北野会長：

流通は真っ直ぐなんやけど

真田 孔明：

うん

北野会長：

と、こう巻いとるんやて

真田 孔明：

はいはい、くるくるくるくる

北野会長：

そう

真田 孔明：

20社も

北野会長：

いやただ、20社、からピンはねしとっただけや

真田 孔明：

笑

北野会長：

だ、経済はみんなそう



真田 孔明：

みんなだからそういう事やってるんですよね？大富豪になる人って？見てると

北野会長：

ま、う〜ん、はっきりは言えんけど、まあ、そういうルートと一緒にやっちゃうねん

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

じゃああんたも、今のサイトのルートがさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、今こうやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

こうやって増えていってさ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ず〜っとあんたが君臨しとったらさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

そやる？そのままコーヒー豆をぐっと恐ろしいや

真田 孔明：

コーヒー 笑



北野会長：

え？

真田 孔明：

コーヒー畑は儲かるって

北野会長：

世の中ね、本当、嫌な話そうなるてる

真田 孔明：

う〜ん、表向きにはやっぱ、そういうの一切出て来ないですね、本とかにも書いてないし

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

頑張ればなれるんだ、みたいな感じで 笑

北野会長：

笑

真田 孔明：

笑 本、何百冊も出してる人なんですけど、その人

北野会長：

そうそう、だからね、本書く人ってのは、ほら聞いて書く人が多い

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、だから後、死んでも

真田 孔明：

はい

北野会長：

そういう、面影みたいなものは絶対ないんや

真田 孔明：



う～ん

北野会長：

何だから 聞いたもん書いとるだけや

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからやっぱ、現実とやっぱ物書きは違う・・・何やったっけ？藤原塾やったっけ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

もともとああいう事やとったんやな？あんた達は？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

毎月投資ファンドとか

真田 孔明：

そうです

北野会長：

ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

今じゃ嫁はんがさ



真田 孔明：

はい

北野会長：

「孔明さん、ちゃんと昔からこうやって研究しとったみたいよ？」

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

って言うから、「ほんとかい？」って見たら

真田 孔明：

はい

北野会長：

書いとったから、あ〜、んな彼等、ずっとやっとなんや

真田 孔明：

藤原塾はね、僕が代表じゃないんですけど、代表は別の人立ててて、今460何人の投資家が集まってるんですよね、499人までなんですけど、マックスは

北野会長：

ああ、ああ

真田 孔明：

役員として、登録して・・・あれはもう法律コンプライアンスも100%クリアしているやり方で、うん、飛ばない案件を、自分達で作ってやろうみたいな、あれで

北野会長：

ああ〜

真田 孔明：

集まってやってたんですけど、金商法とかこういうのも全部クリアして

北野会長：

これすごい事やっとなんやないかい？

真田 孔明：



は〜い

北野会長：

そやらほう、何か

真田 孔明：

はい

北野会長：

さすがほう、大学出た人達が集まって

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

考えたようなシステム

真田 孔明：

そうです

北野会長：

っていう事を書いてあっから

真田 孔明：

そっち系、そっち系です

北野会長：

すごいなと

真田 孔明：

資金調達もだからあれ、ね、銀行からとか、そういうのじゃない、ないですけどね、メンバー同士で出して、であの〜フィリピンで実はボホール島のやつも、あそこで〜最初にたまが、2億かなんか集まって、それで最初に土地買ってみたいなのがあるんですよね

北野会長：

そこら辺は全然俺も・・・

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
ほなそれ聞いて

真田 孔明：
はい

北野会長：
孔明さんは昔、何？藤原塾？何やったっけ？

真田 孔明：
何ですか？藤原塾ですね、はい

北野会長：
ね

真田 孔明：
はい

北野会長：
「昔からこの人達、こんな事知っとったんやないかいねん？」って事を、嫁はんが言ってたから

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
ああ～本当

真田 孔明：
うん

北野会長：
と、わしは 聞いたんやけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
あ、だから電波がつながりやすかった



真田 孔明：

ああ～

北野会長：

かなと思ったり・・・でもいっぱい、こうサイトを持っとるんやね？あんた達は？

真田 孔明：

う～ん、でも今ね、メインでやってるのが、だからあの～、もう絞りに絞って、北野物販大富豪クラブと藤原塾

北野会長：

ふ～ん

真田 孔明：

ここが2本の柱で、あとはもう毎月、あの、毎週の孔明タイムっていうね、980円で音声売ってるんですけど

北野会長：

う～ん

真田 孔明：

う～ん、あれが1,000、1,000人ぐらいいてとか

北野会長：

う～ん

真田 孔明：

あとはそこから派生する、何かちょっとちっちゃいイベントみたいなのがあったり

北野会長：

う～ん

真田 孔明：

あとは東洋医学系のやつの商品を、ま、ちょっとづつもらってるみたいな感じですよ、あんまりもう最近はもう絞ってやろうと

北野会長：

でもね、一番ね、興味あるのは金なんやて

真田 孔明：



う～ん

北野会長：
ね、二番目は

真田 孔明：
はい

北野会長：
美と健康なの

真田 孔明：
美と健康

北野会長：
ね、ところがね、これもこの間あんに、え～だいぶ酔っ払って来た

真田 孔明：
はい

北野会長：
情報とさ、情報工学と

真田 孔明：
はい

北野会長：
なんやったっけ？ 銭の計算、金融工学

真田 孔明：
金融工学

北野会長：
掛け算と一緒に

真田 孔明：
はい

北野会長：
これをね、もう1つ、この後ろに付け加えると



真田 孔明：

はい

北野会長：

結構伸びる

真田 孔明：

おお～、それは

北野会長：

いやいやいや 笑 いやいやいや、だからこれ、今のやつを伸ばして行って、円がでかくなったら

真田 孔明：

ああ、ああ

北野会長：

そこは仕掛けた方がいい

真田 孔明：

ああ～、あ、でも、そうですね、北の物販大富豪クラブも地道に堅実に言えば、ちょっとテーマに

北野会長：

うん、そうそうそうそう

真田 孔明：

はい、で藤原塾の方も、あの先生ってのが、派手な人じゃないんで、全然

北野会長：

うんうんうんうん

真田 孔明：

地道にやりま、あの法律とコンプラを100%重視してやりましょうってタイプの人なんで、飛ばないように、ここで固めて、やろうかなと思ってるんですけどね

北野会長：

でもやっぱあんたの書くさ、0,01%の金利の世界でさ



真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、年間24%とかね

真田 孔明：

笑

北野会長：

ね、あってはいいのかならないのか？ま、そこら辺ね、始めから読んだら

真田 孔明：

うん

北野会長：

やっぱバカ野郎と、こう思ってやっぱ入って来る人もいる

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

実際そうやよ？

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからさ、金貯めて勝負する、なんていう時代じゃないやねん

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

金を借りて

真田 孔明：

はい

北野会長：



スタートしなきゃ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

どんだけお前、会社お前勤めとったってお前

真田 孔明：

本当ですよ

北野会長：

俺は、経費は上がるって言ってたよ

真田 孔明：

う〜ん、だって弟がもしあの給料で、20万円で2,000万円貯めようと思ったら、もう何百年か
かちゃう 笑 だって20万円って現金た、使わなきゃいけないじゃないですか？それ多分ね、
月に1、2万円しか貯められないんで 笑

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

笑 160年とかかかっちゃうんですよ 笑 永遠に無理ですよ、あれ

北野会長：

そんなの無理や 笑

真田 孔明：

はい、みんなそういう計算が大学でできなくなっちゃうんですよ？大学出ちゃうと？

北野会長：

そう、できんが

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だから $3 \times 3 = 9$ と



真田 孔明：

はい

北野会長：

$9 \times 9 = 81$ が絶対わからんがから

真田 孔明：

ああ～恐ろしい事ですよ、大学って

北野会長：

で、 3×3 までわかるが

真田 孔明：

はい

北野会長：

$3 \times 3 = 9$ やろ？ここまではわかる

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

次の掛け算がでけん

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

普通やから $9 \times 9 = 81$ とか難しい、倍数が変わって来ると、10の隅はさ、見える

真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、10の真ん中が見えないと

真田 孔明：

ええ、ええ

北野会長：



4隅は見えんが

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、だから $3\times 3=9$ はわかる

真田 孔明：

うん

北野会長：

学校で習ったから、で $9\times 9=81$ になると、隅やもんで

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

最後の一番頂点やから、わからん

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だからああ言って、みんな間違いを犯すんや

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

俺が言うと、やっぱ基準はさ、ね、わし等の倶楽部を応援してやな

真田 孔明：

はい

北野会長：

印刷機からさ、ダンボール50個ほどを

真田 孔明：

笑



北野会長：

パッとこうずらかしてくれと 笑 これが一番早いんでないかな？

真田 孔明：

この人達にとって

北野会長：

そうそう 笑

真田 孔明：

許認可と同じように

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

裏から？

北野会長：

いいやろ？

真田 孔明：

すごいですよね？それもしでしたら

北野会長：

そやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

いや

真田 孔明：

それでみんな飛ばし、飛ばさない経営ができるという事ですよね、だから逆に言うと、国も銀行も、満額で1,000万つつ貸してくれるって事は、僕達の会社に、「あ、この会社は飛ばさないな」って見たんですよね？

北野会長：



そうそうそうそう

真田 孔明：

実は、あれっていうのは、じゃないと向こうだってわかりますもんね、飛ばすかどうかってのは？

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

うん

北野会長：

な、俺はだから、それを、ね、まあ最低1億ぐらいでさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、そう、政策銀行って

真田 孔明：

銀行から？ 笑

北野会長：

商工中金と、ね、だって3社で、ま、とりあえず1億つつ、ね、こう出すと、こういう事を協定にしといてくれってさ 笑

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、じゃあ利息の保証人は誰？たとえば

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、俺がさ、なってもさ



真田 孔明：

はい

北野会長：

俺はなってもこう、利息なら払えるやね？

真田 孔明：

はい

北野会長：

で、それ、数がでかくなり過ぎたら困るから 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

とりあえず今は 笑

真田 孔明：

うん

北野会長：

え～、ね

真田 孔明：

うん

北野会長：

これくらいでとどうやるか？と

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、こういうシステムをやっぱ、かけていくと面白いんでないかなと

真田 孔明：

う～ん、プラチナ限定とかね 笑

北野会長：



そうそうそう 笑

真田 孔明：

あ、でもプラチナってやっぱ、20人ぐらいがマックスですよね？なんかね？

北野会長：

ま、そんなもんやろな

真田 孔明：

ね、毎回毎回たくさん来ちゃっても困りますもんね

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

だ、管理できなくなって来ると、大変ですもんね

北野会長：

う〜ん、いやそれよりもね

真田 孔明：

はい

北野会長：

やっぱ最終的にね、やっぱ、月分けても日分けても

真田 孔明：

はい

北野会長：

金さえ俺が引っ張れるようになりゃ

真田 孔明：

はい

北野会長：

ん〜200に売っても、2,000に売った方がいい

真田 孔明：

ああ〜



北野会長：
やっぱたまの桁でさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
まあ、悪代官にたのみやすい 笑

真田 孔明：
笑

北野会長：
な、どお？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
俺はだから、そういうバカな事を重んじるわけ

真田 孔明：
すごいですね、その発想、浮かばないなあ、普通

北野会長：
笑 いや、今までは饅頭の下に入れとるのが賄賂やったんだけど

真田 孔明：
はい

北野会長：
これやっぱね 笑 そういう細かい事やらんと

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね



真田 孔明：

で、その人もやっぱりだって、ちゃんとして来るわけですよね？あの、政治資金が？

北野会長：

いやいや、だから

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺は思っとるのは、やっぱ、ね、ブラックのどこやっぱ、直接持ってくシステム作ったらええ

真田 孔明：

笑

北野会長：

あそこはさ、じゃあどっちみち紙刷っとる印刷会社やから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

印刷会社ってやっぱ手を結ばん事には、これね

真田 孔明：

ああ、印刷会社か・・・

北野会長：

印刷 笑

真田 孔明：

銀行絶対逆らえないですよね？

北野会長；

そやる？

真田 孔明：

う〜ん、銀行のほら、幹部のね、メンバーにいるんですけど、あの〜融資の決済をする人

北野会長：



そんなレベルじゃダメ

真田 孔明：
ダメですよ？

北野会長：
これやっぱね、ブラックのおじさんに 笑

真田 孔明：
ブラックのおじさん 笑 すげ～その発想

北野会長；
ね 笑 ね、そんなね

真田 孔明：
うん

北野会長：
あの、その音符みたいな事を拾ってもな、あらあ満足せんのやから

真田 孔明：
村上ファンドも何か、1,000万みたいな印刷してとか、何かありましたけどね、あれ？

北野会長：
そうそうそう、あれも一緒の事、やっと思ったんや

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
元はね、あの～わし等も

真田 孔明：
はい

北野会長：
本当はお客さんは一緒なんやじゃ

真田 孔明：
う～ん



北野会長：

彼みたいやり方じゃ、絶対生き残られんって

真田 孔明：

ああ～、派手にやり過ぎちゃって、あれ場合でもとんでも、問題は4,444億もやると、今度はやっぱり支店をやしないと、その、誰か買ってくれなくなっちゃうんじゃないですかね？あのぐらいの規模になっちゃうと？

北野会長：

な、大丈夫なん

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれでも、生き残びられたんやけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

表に出たんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

だから結局は、やっぱね、全部公平にできんわけや

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

ね、孔明も女が、余計になると、きちっと回らなく、だんだん飛ばすようになるんやて

真田 孔明：

う～ん

北野会長：



体しんどい、一緒やで

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

結局ね、え～体力が続かん

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

体力はしっかりやれと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

で、結局ね、ちょっとだます、だまされた方が怒るやろ？

真田 孔明：

ああ、ああ

北野会長：

それから渦になると終わり

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

簡単に壊れる

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

で、どこへ逃げても追い込みがかかって来るから、どうしようもないやで

真田 孔明：

うんうん



北野会長：

みんな一緒やる？あのグループは？だから長いもんには、やっぱ巻かれる

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

だからこれは、本家へ、やっぱ直接銭持ってって、ね

真田 孔明：

笑

北野会長：

お願いしますと 笑 頭下げるんやから、そりゃまあ、ね、頭下げて尻尾下げとる犬を、叩く
もんもおらんやると、言うだけただやないかい？

真田 孔明：

そうですね、言うだけはただですよ、実行しなければ

北野会長：

笑 いかがでしょうかと、だんだん俺はもう人生は短くなっていく人や

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だからやっぱ、やっぱ発想も変えて、横の流通みたいなもんを振ってさ、これの方が安全なん
やけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

それよりも、おじさんに、ブラック級にはなりたくないけど 笑 ブラックカード一枚欲しい
な言うてさ、冗談を言うてみるのも1つかなと

真田 孔明：



う～ん

北野会長：

いやおじさんの、別にカード一枚あげときゃいいやね

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

いや印刷したら、ね、紙をこう2つもらって

真田 孔明：

笑

北野会長：

プラスチックはおじさんにくれ

真田 孔明：

笑

北野会長：

プラスチックのカード 笑

真田 孔明：

笑

北野会長：

ギブアンドテイクや

真田 孔明：

笑

北野会長：

そこら辺りが一番面白いんでないかなと

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

と、私は思っとるんやけど、結構ね、場所は別に今でも十分



真田 孔明：

はい

北野会長：

満足しとるんやけど

真田 孔明：

何か、北野会長があの～、面白いかどうかポイントですよね？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

あの～、四柱推命に、それが出て来る 笑

北野会長：

じゃ、俺やる？結構ね

真田 孔明：

面白いかどうかってところがポイントになって

北野会長：

そうそう、あの～金の満足という、以外のもんあるやね

真田 孔明：

はい、ゲームを楽しんでるんですね？

北野会長：

ゲームに負けるの、あんま好きじゃない

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

金の欲じゃねや、まああるのかもしれんけども

真田 孔明：

うんうん



北野会長：
気分悪い

真田 孔明：
はい

北野会長：
だ、絶対人が作られんシステムを

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
システムや

真田 孔明：
システム

北野会長：
俺の場合はシステムを作りたい

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
やっばこう、黒のおじちゃんといっぺん会ってやね、ね、こういうね、印刷会社の話を、いっぺんしてみたら

真田 孔明：
はい

北野会長：
面白いんでないかなと

真田 孔明：
笑

北野会長：
今こう横、横斜め言うから、間接的に聞いとってまさ、いや、勝とう言うんじゃないくて



真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ま、舎弟の1人になって事で

真田 孔明：

はい

北野会長：

舎弟の話やからさ 笑 結構面白いんでないかな

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

今さら持っとる銭は、ね、使われるわけの銭でもないんやから、もっとやっぱもっと面白い発想でさ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ば～んと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

何か、そこら辺で

真田 孔明：

はい

北野会長：

投資ができんもんかなと

真田 孔明：

う～ん

